

東御市こども計画
第3期東御市子ども・子育て支援事業計画
(骨子案)

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨	2 ページ
2 計画の性格と位置づけ	3 ページ
3 計画の期間	3 ページ
4 計画策定の体制と経緯	4 ページ

第2章 東御市の子ども・子育てを取り巻く現状と課題

1 少子化の動向	4 ページ
2 働き方と子育ての両立	5 ページ
3 教育・保育	5 ページ
4 子育て支援事業	6 ページ
5 子育て・子育ての社会環境	6 ページ

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念	7 ページ
2 基本目標	7 ページ

第4章 施策の展開

	8 ページ
--	-------

第5章 第3期子ども・子育て支援事業計画 量の見込みと提供体制

	9 ページ
--	-------

第6章 計画の推進

	9 ページ
--	-------

資料編

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

我が国の急速な少子化の進展や核家族化の進行、就労環境の変化等から、子育て家庭や地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、社会全体で子育てを支援していくことが必要であるということから、国は平成6（1994）年の「エンゼルプラン」を皮切りに、少子化社会対策基本法、次世代育成支援対策推進法を制定し、「少子化対策」と「仕事と子育ての両立」に向けた施策を展開してきました。

また、平成24（2012）年8月には子ども・子育て支援法を含む「子ども・子育て関連3法」の制定により、質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、地域の子ども・子育て支援の充実を図るため、平成27（2015）年4月から市町村を実施主体とした新たな子ども・子育て支援制度に移行することとなりました。

こうした国の流れに沿って、市では「次世代育成支援対策行動計画」や「第1期東御市子ども・子育て支援事業計画」（平成27（2015）年度から平成31（2019）年度）、第1期の理念を踏襲した「第2期東御市子ども・子育て支援事業計画」（令和2（2020）年度から令和6（2024）年度）を策定し、総合的な子育て支援施策を推進してきました。

一方、平成6（1994）年に我が国で「子どもの権利条約」が批准された以降も、こどもに関わる様々な個別の法律はあるものの、当事者であるこどもを権利の主体と位置づけ、その権利を守る法律はなく、こどもの声を聴く機会が確保されてきませんでした。

こども人口は減少する中、児童虐待や不登校、いじめ、自殺、こどもの貧困問題など、こどもと子育てを取り巻く社会状況は深刻さを増しています。こどものあらゆる権利を守り、こどもをめぐる相互に関連する諸問題を抜本的に解決し、こどもに関する施策を幅広く整合性をもって検討、推進するため、令和4（2022）年6月に「こども基本法」が成立、令和5（2023）年4月に施行され、同時に「こども家庭庁」が発足しました。

市でも、国の動向と同じく増加傾向にある児童虐待へのさらなる対応や、こどもの意見が市政に反映される機会の確保など、こどもの権利の擁護は重要な課題となっています。また、こどもの数の減少とともに兄弟姉妹の数も減少しており、こどもが異年齢の中で育ちあう機会が減少しています。子育て家庭だけではなく、地域社会全体がこどもの育ち（子育て）や子育てに参画し、共に見守り続けることにより、共に成長しあっていくことも重要です。

子育て環境では、核家族や共働き世帯は引き続き増加しており、出産や育児に伴うワークライフバランスを保つことや、保護者の心身の健康を維持することが大きな課題となっています。子育て家庭の不安や負担に寄り添い、早期からの相談につなげ、ニーズに即した支援や情報を提供することで、保護者が自信をもって子育てができ、さらに子育てを楽しむことができる環境を整えるとともに、仕事と子育ての両立を支える環境づくりが求められています。

地域全体で子育てと子育てを支える環境を整え、こども一人ひとりが尊重され、すべてのこども

が心身ともに健やかに成長できるまちの実現を目指すため、「こども基本法」が掲げる理念を鑑み、かつ、これまで推進してきた「第2期東御市子ども・子育て支援事業計画」の施策をさらに充実・深化させた「第3期東御市子ども・子育て支援事業計画」を内包する「東御市こども計画」を策定します。

2 計画の性格と位置づけ

本計画は、「こども基本法」第3条の基本理念や第9条に定める「こども大綱」及び長野県が都道府県こども計画に位置付ける「子ども・若者支援総合計画」を勘案し、東御市におけるこども施策を統括する「こども基本法」第10条に基づく市町村こども計画^注として位置づけます。

加えて、「子ども・子育て支援法」第61条に基づき、幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を計画的に行うための市町村事業計画であり、国の定める基本指針を踏まえて策定します。

本計画は、市のまちづくりの総合的指針である「第3次東御市総合計画」や地域福祉の方針を定める「第5次東御市地域福祉計画」を上位計画としてその方針に沿って策定します。

また、こども、若者及び子育て支援の視点を具体化する分野別計画である「東御市青少年健全育成計画」、「東御市障がい者福祉計画」、「東御市障がい児福祉計画」、「東御市健康づくり計画」、「東御市自殺対策計画」、「教育基本計画」などとの整合性を図り、さらに、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「次世代育成支援市町村行動計画」及び「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づく「子どもの貧困対策計画」を内包する計画として策定するものです。

*****^注「こども計画」

… 市町村は、国の「こども大綱」や県の「都道府県こども計画」を踏まえて、①子ども・若者育成支援推進法第9条に基づく「市町村子ども・若者計画」 ②子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に基づく「市町村計画」 ③法令の規定により地方公共団体が作成する計画であってこども施策に関する事項を定めるものを内包する「市町村こども計画」の策定に努めるとされています。
《努力義務》

「子ども・子育て支援事業計画」は「市町村こども計画」と一体のものとして作成することが可能。

3 計画の期間

令和7年（2025）4月1日から令和12年（2030）3月31日までの5年間とします。

平成 27～31 年度 2015～2019 年度	令和 2～6 年度 2020～2024 年度	令和 7 年度 2025 年度	令和 8 年度 2026 年度	令和 9 年度 2027 年度	令和 10 年度 2028 年度	令和 11 年度 2029 年度
第1期子ども・子育て支援事業計画	第2期子ども・子育て支援事業計画	こども計画 第3期子ども・子育て支援事業計画 ※必要に応じて見直しを実施				

4 計画策定の体制と経緯

計画の策定にあたっては、市内小学校に通う5年生に対する生活実態調査と、就学前児童及び小学生の保護者に対する子ども・子育て支援に関するニーズ調査を実施し、こどもや子育て家庭の実態やニーズを把握するとともに、第2期子ども・子育て支援事業計画の実績から評価を行い、子育てをめぐる社会情勢の変化、各種統計等から現状や課題の把握に努めました。

これらを踏まえ、子育て支援審議会を開催し、計画の内容について審議し、本計画の策定作業を進め、市民に本計画の案を公表し、広く意見を求めるため、令和●年●月●日から令和●年●月●日までパブリックコメントを実施しました。

第2章 東御市の子ども・子育てを取り巻く現状と課題

※「課題・視点」にあっては現段階において把握できた内容を事務局が整理したものであり、今後はサポートセンター運営委員会で精査したうえ整理していきます。以下同じ。

1 少子化の動向

《関係課データ集計結果》

＜記載内容の要点＞

- 減少する出生数（185人⇒154人 5年前比－16.8%）
- 20歳～39歳女性人口の大幅な減少（2,814人⇒2,445人 5年前比－13%）
- 合計特殊出生率は全国平均水準まで低下（1.69⇒1.25）
- 生涯未婚率の大幅な増加（男性：29.6%、女性：15.8%）

《課題・視点》

＜記載内容の要点＞

- 進学や就職を機とした市外への転出等による「20代の減少、その後の転入の減少」
⇒ 女性の「戻りたい」「暮らしたい」を後押しする施策が必要
- 経済的な不安等による「未婚・晩婚化」
⇒ 女性や若者の収入安定・所得向上、魅力ある職場環境づくりが必要
⇒ 多様な出会いの機会の創出が必要

2 働き方と子育ての両立

《アンケート調査結果》

＜記載内容の要点＞

- 父母ともに子育てを行う「共育て」家庭は増加（就学前 58%⇒73%）
- 子どもを預かってもらえる親族・知人のいない家庭が増加（7%⇒12%）
- 配偶者以外に気軽に相談できる人の割合が減少（93%⇒87%）
- 子育てをする中での最大の不安・悩み・負担は「子育てへの経済的負担」（就学前：28%⇒47%）
- 5年前と比較してフルタイムで働いている母親の割合が高く、共働きが増加（就学後：39%⇒82%）
- 育児休業の取得割合は増加しているが、1歳になったとき必ず利用できる保育所等があれば、9割が1歳までの育児休業を希望
- 母親のフルタイム勤務への転職希望が増加（就学前：32%⇒51%）
- 3歳まで育児休業を取得する制度があった場合、母親の5割は3歳までの育児休業を希望
- 3歳まで育児休業を取得する制度があった場合、父親の3割は1歳までの育児休業を希望

《課題・視点》

＜記載内容の要点＞

- 子育て家庭が孤立がちになってしまう社会環境
- 子育てと仕事の両立が難しい状況にある職場環境

3 教育・保育

《アンケート調査結果》

＜記載内容の要点＞

- 教育・保育事業の利用希望は「認定こども園」と「小規模保育施設」において増加（認定こども園：9%⇒26%、小規模保育施設：4%⇒9%）
- 平日に教育・保育事業を利用していない理由として、「保護者が共に働いていない」割合が減少（59%⇒48%）
- 子どもが大きくなったら保育所等に預けたいとする年齢に対し3割が「1歳」と「3歳」と回答（1歳：27%、3歳：36%）
- 土曜日に定期的な教育・保育事業を希望している8割が「月に数回仕事が入る」と回答（68%⇒79%）

《課題・視点》

＜記載内容の要点＞

- 多様な教育・保育ニーズを受け止められる環境整備
⇒ 多様な働き方に対応する教育・保育環境の整備が必要

4 子育て支援事業

《アンケート調査結果》

＜記載内容の要点＞

- 特に0歳～2歳時をもつ家庭において不定期的に保育所等を利用したい希望が増加（0歳～2歳：52%、3歳～5歳：43%）
- 保育所等の不定期利用を希望する0歳～2歳の家庭においては「私用・リフレッシュ」を目的とする希望が最も多い（11%⇒74%）
- 不定期的に預ける場所として最も希望が多いのが「子育て支援センター」（70%）
- 子育て支援センターの利用は増加しているものの「利用していない」は約7割
- 子育て支援センターの利用希望について、「利用していないから利用したい」は3割
- 小学生をもつ家庭において「子どもの病気や発育・発達に心配や不安がある」とする家庭が顕著に増加（13%⇒37%）
- 小学生を持つ家庭において「子どものとの接し方に自信が持てない」とする家庭が増加（11%⇒19%）

《課題・視点》

＜記載内容の要点＞

- 保育人材の確保
- 子育てに対する心理的不安感の解消
- 未就園児の家庭保育の負担軽減

5 子育て・子育ての社会環境

《アンケート調査結果》

＜記載内容の要点＞

- アンケート調査「自由記述」欄
 - ・不満や要望が多かった内容は「経済的な支援に関すること」（16.4%）、一時預かりや保育園、児童館、児童クラブを含めた「子どもを預けられる場所に関すること」（15.7%）
 - ・気軽に相談できる場所や体制を求める声も一定数ある（9.4%）
- 小学校5年生に対する生活アンケート
 - ・「夢がない」と回答したこどもの割合は16%で、「夢がない理由」は「なにも思いうかばない」が50%
 - ・「自分の将来が楽しみ」かどうかについて、「あまり思わない」12%、「思わない」8%
 - ・「自分のことが好き」かどうかについては、「あまり思わない」22%、「思わない」16%
 - ・「悩みや心配」については、「悩みや心配なことはない」が27%、次いで「友人関係」12%、「自分の性格」12%、「勉強」11%
 - ・市への要望等の自由記述では、商業施設や遊べる場所（公園、遊園地など）の誘致や整備を求めるものが43%と最多。以下、学校の対応や学習環境等に関することが17%、安心できる居場所を求めるものが11%

《課題・視点》

＜記載内容の要点＞

- 子育て家庭が感じている経済的、精神的、肉体的な負担感への対応
- こどもが自分を好きになり、将来に夢や希望を持って成長できる施策の必要性
- こどもが安心できる居場所の必要性
- 市政へこどもの意見を反映させる仕組みづくり

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

「こども基本法」の理念及び「こども大綱」に示された子育て施策に関する方針と、市の上位計画である「第3次東御市総合計画」の基本目標を鑑み、以下の基本理念を制定します。

（案1）共に支えあい、こどもが健やかに自分らしく輝けるまち とうみ

（案2）こどもの健やかな育ちを地域全体で支えるまち とうみ

（案3）地域で育み、こどもが誇りと自信をもって輝けるまち とうみ

2 基本目標（案）

基本理念の実現に向けて進める取組の目標として、次の3つを基本目標として定めます。

◇ 基本目標1：夢を持ちたくましく生きるこどもが育つ環境づくり

◇ 基本目標2：安心してこどもを産み育て、充実した時間を過ごせる環境づくり

◇ 基本目標3：困難を抱えるこどもや子育て家庭への支援や地域の支えあい体制づくりの推進

第4章 施策の展開

<記載内容の要点>

- 第2章「現状と課題」で明らかにした視点に基づき、今後の子育て・子育て支援の「施策の方向性」を明らかにするとともに、取り組みの内容を具体的に記述します。
- 今後、国から示される「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」（改正版）を踏まえるとともに、長野県が都道府県子ども計画に位置付ける「子ども・若者支援総合計画」を勘案し、施策を明らかにします
- 今後5カ年（2025年度～2029年度）で取り組んでいく事項について、【目標】⇒「施策の方向性」⇒「施策」⇒「主要事業」の順に整理します。

◇ 基本目標1：夢を持ちたくましく生きるこどもが育つ環境づくり

1 施策の方向性

2 施策

- (1) こどもの権利の尊重（こども大綱①）
- (2) こどもや子育て当事者の意見を聴く機会の確保（こども大綱②）
- (3) こどもが将来に夢や希望を持って成長できる環境づくり（こども大綱⑤）
- (4) 安心・安全なこどもの居場所づくり（市総合計画）

◇ 基本目標2：安心してこどもを産み育て、充実した時間を過ごせる環境づくり

1 施策の方向性

2 施策

- (1) 妊娠・出産・子育てからこどもの自立までのライフステージに応じた切れ目ない支援の充実（市総合計画・こども大綱③）
- (2) 子育て・子育てを共に支える地域づくりの推進（市総合計画）
- (3) より豊かな保育の実践（市総合計画）

◇ 基本目標3：困難を抱える人への支援や地域の支えあい体制づくりの推進（市総合計画）

1 施策の方向性

2 施策

- (1) 障がい児福祉の充実（市総合計画）
- (2) 良好な育成環境の確保と貧困や格差の解消（こども大綱④）
- (3) 地域でこどもの育ちと子育てを支える体制の構築（市総合計画・こども大綱⑥）

第5章 第3期子ども・子育て支援事業計画 量の見込みと提供体制

<記載内容の要点>

- 教育・保育提供区域
- 将来の子ども人口
- 幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制
⇒各年度における教育・保育の量の見込み並びに実施しようとする教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期を記載します。
- 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制
⇒各年度における**地域子ども・子育て支援事業[※]**の量の見込み並びに実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期を記載します。
- 教育・保育の一体的提供、小学校との連携の推進体制
⇒地域における教育・保育施設間の連携、認定こども園、幼稚園及び保育所と小学校等との連携の推進方法を記載します。

※ 上記に加え、今後国から示される「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」（改正版）に基づく事項を列挙します。

*****[※] 「地域子ども・子育て支援事業」

… 利用者支援事業、時間外保育事業、放課後児童健全育成事業、子育て短期支援事業、乳幼児全戸訪問事業、養育支援訪問事業及び要保護児童等に対する支援事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、病児保育事業、妊婦健康診査事業といった従来 of 事業に加え、改正児童福祉法において新たに位置付けられた家庭支援事業（子育て世帯訪問支援事業、児童育成支援拠点事業、親子関係形成支援事業）、こども家庭センター、地域子育て相談機関をいう。

第6章 計画の推進

<記載内容の要点>

- 計画の点検・評価
⇒ 各項目の達成状況の点検と評価については、個別事業の進捗状況（アウトプット）に加え、事業の成果（アウトカム）についても評価し、進捗状況を明らかにします。
- 地域や関係機関との連携

資料編

令和 5 年度 第 3 期子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査分析業務 報告書

公益財団法人身体教育医学研究所

【報告内容】

この報告は、「市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」（平成 26 年 1 月）ならびに「第三期市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等の考え方について（改訂版 ver.1）」（令和 6 年 3 月 11 日）により、ワークシートを活用して、ニーズ調査票から教育・保育及び地域子育て支援事業の「量の見込み」の集計及び分析等を行ったものである。

【対象者数】

本調査は、「東御市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」として、0～2 歳児、3～5 歳児、小学生の保護者を対象に行った（就学前と小学校低学年で実施した第 1 期、第 2 期とは年齢区分が異なっている）。また、東御市内の小学校 5 年生全員を対象として、算出とは直接関連しない別途アンケートを行った。

表 1 調査対象および回答状況等

●就学前児童の保護者を対象とした調査

調 査	第 3 期		第 2 期	第 1 期
時 期	令和 5 年 11 月		平成 31 年 1 月	平成 26 年 1 月
対 象	3～5 歳児	0～2 歳児	0～5 歳児	0～5 歳児
方 法	抽出調査 (WEB)	抽出調査 (WEB)	抽出調査 (郵送)	全数調査 (郵送)
母 集 団	614	575	—	1237
配 布 数	120	120	337	1237
有効回答数	44	60	198	870
有効回答率	36.7%	50.0%	58.8%	70.3%

●小学生児童の保護者を対象とした調査

調 査	第 3 期		第 2 期	第 1 期
時 期	令和 5 年 11 月		平成 31 年 1 月	平成 26 年 1 月
対 象	4～6 年生	1～3 年生	1～3 年生	1～3 年生
方 法	抽出調査 (WEB)	抽出調査 (WEB)	抽出調査 (郵送)	全数調査 (郵送)
母 集 団	1113		—	521
配 布 数	130		113	521
有効回答数	35	29	62	449
有効回答率	49.2%		54.9%	86.1%

●小学 5 年生を対象とした調査（算出とは直結しない調査）

小学 5 年生全員を対象に、配布回収によるアンケートを実施し、233 名から回答を得た。

<内訳> 男子 121 名、女子 106 名、不明 6 名

田中小学校 70 名、滋野小学校 37 名、祢津小学校 44 名、和小学校 45 名、北御牧小学校 37 名

【算出項目】

1. 家庭類型の分類

(1) 現在及び潜在的な家庭類型

2. 教育・保育の量の見込み

(2) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

3歳～就学前

(3) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）

3歳～就学前

(4) 2号認定（認定こども園及び保育所）

3歳～就学前

(5) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

0歳、1歳、2歳

3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法

(6) 時間外保育事業

0歳～就学前

(7) 放課後児童健全育成事業

3歳～就学前、1～3年生、4～6年生

(8) 子育て短期支援事業

0歳～就学前

(9) 地域子育て支援拠点事業

0～2歳

(10) 一時預かり事業（幼稚園型）

3歳～就学前

(11) 一時預かり事業（その他）

0歳～就学前

(12) 病児保育事業

0歳～就学前

(13) 子育て援助活動支援事業（就学時対象のファミリー・サポート・センター）

1～3年生、4～6年生

【「量の見込み」の算出結果】

(1) 児童の現在及び潜在的な家庭類型

就学前児童 104 名（0～2 歳児 60 名、3～5 歳児 44 名）の回答のうち、子どもの年齢は、0 歳児 17 名、1 歳児 17 名、2 歳児 26 名、3 歳児以上 44 名であり、家庭類型の算出方法に従って集計を行った結果、それぞれの家庭類型区分に該当する割合は、以下の表 2－1，2 の通り算出された。

表 2－1 家庭類型別集計結果（0 歳～就学前）

■ 0 歳～就学前	現在		潜在		※前回 潜在割合
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	4	4%	4	4%	10%
タイプB：フルタイム×フルタイム	45	43%	48	46%	39%
タイプC：フルタイム×パートタイム	29	28%	30	29%	28%
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	8	8%	8	8%	3%
タイプD：専業主婦（夫）	18	17%	14	13%	19%
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	0%
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	0%
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	0%

表 2-2 家庭類型別集計結果（年齢別：0歳・1歳・2歳・3歳～就学前）

■ 0歳	現在		潜在		※前回 潜在割合
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	1	6%	1	6%	4%
タイプB：フルタイム×フルタイム	11	65%	11	65%	53%
タイプC：フルタイム×パートタイム	1	6%	1	6%	9%
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	1	6%	1	6%	2%
タイプD：専業主婦（夫）	3	18%	3	18%	32%
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	0%
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	0%
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	0%

■ 1歳	現在		潜在		※前回 潜在割合
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	0	0%	0	0%	9%
タイプB：フルタイム×フルタイム	10	59%	10	59%	40%
タイプC：フルタイム×パートタイム	5	29%	6	35%	27%
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	1	6%	1	6%	0%
タイプD：専業主婦（夫）	1	6%	0	0%	24%
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	0%
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	0%
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	0%

■ 2歳	現在		潜在		※前回 1,2歳で 集計
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	0	0%	0	0%	
タイプB：フルタイム×フルタイム	11	42%	14	54%	
タイプC：フルタイム×パートタイム	10	38%	8	31%	
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	1	4%	0	0%	
タイプD：専業主婦（夫）	4	15%	4	15%	
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	

■ 3歳～就学前	現在		潜在		※前回 潜在割合
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	3	7%	3	7%	14%
タイプB：フルタイム×フルタイム	13	30%	13	30%	32%
タイプC：フルタイム×パートタイム	13	30%	15	34%	39%
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	5	11%	6	14%	4%
タイプD：専業主婦（夫）	10	23%	7	16%	11%
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	0%
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	0%
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	0%

表２－２の潜在的な家庭類型の割合に基づき、今後の推計人口から、各年齢における家庭類型別の児童数を推計した（表２－３）。「量の見込み」は、家庭類型別児童数に、アンケートから得られる利用意向率を掛け合わせて得られる各家庭類型別のニーズ量の和で得られることから、重要な数字となる。

また、小学校児童 64 名（低学年 29 名、高学年 35 名）も同様の数字を表 3－1，2 に示した。

表 2－3 就学前児童の各年齢における家庭類型別児童数推計（令和 7～11 年度）

0 歳～就学前

家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		1,084	1,002	930	857	792
タイプA：ひとり親家庭	4%	42	39	36	33	30
タイプB：フルタイム×フルタイム	46%	500	462	429	395	365
タイプC：フルタイム×パートタイム	29%	313	289	268	247	228
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	8%	83	77	72	66	61
タイプD：専業主婦（夫）	13%	146	135	125	115	107
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0

0 歳

家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		152	143	136	126	117
タイプA：ひとり親家庭	6%	9	8	8	7	7
タイプB：フルタイム×フルタイム	65%	98	93	88	82	76
タイプC：フルタイム×パートタイム	6%	9	8	8	7	7
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	6%	9	8	8	7	7
タイプD：専業主婦（夫）	18%	27	25	24	22	21
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0

1 歳

家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		157	144	132	122	108
タイプA：ひとり親家庭	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	59%	93	85	78	72	64
タイプC：フルタイム×パートタイム	35%	56	51	47	43	38
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	6%	9	8	8	7	6
タイプD：専業主婦（夫）	0%	0	0	0	0	0
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0

2 歳

家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		161	155	140	127	116
タイプA：ひとり親家庭	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	54%	87	83	75	68	62
タイプC：フルタイム×パートタイム	31%	50	48	43	39	36
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプD：専業主婦（夫）	15%	25	24	22	20	18
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0

3 歳～就学前

家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		614	560	522	482	451
タイプA：ひとり親家庭	7%	42	38	36	33	31
タイプB：フルタイム×フルタイム	30%	181	165	154	142	133
タイプC：フルタイム×パートタイム	34%	209	191	178	164	154
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	14%	84	76	71	66	61
タイプD：専業主婦（夫）	16%	98	89	83	77	72
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0

表 3－1 家庭類型別集計結果（小学校全体、低学年、高学年）

■小学生	現在		潜在		※前回 潜在割合
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	4	6%	4	6%	—
タイプB：フルタイム×フルタイム	32	50%	35	55%	—
タイプC：フルタイム×パートタイム	17	27%	18	28%	—
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	1	2%	2	3%	—
タイプD：専業主婦（夫）	10	16%	5	8%	—
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	—
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	—
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	—

■低学年	現在		潜在		※前回 潜在割合
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	1	3%	1	3%	—
タイプB：フルタイム×フルタイム	19	66%	19	66%	—
タイプC：フルタイム×パートタイム	7	24%	9	31%	—
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	0	0%	0	0%	—
タイプD：専業主婦（夫）	2	7%	0	0%	—
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	—
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	—
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	—

■高学年	現在		潜在		※前回 潜在割合
	実数	割合	実数	割合	
タイプA：ひとり親家庭	3	9%	3	9%	—
タイプB：フルタイム×フルタイム	13	37%	16	46%	—
タイプC：フルタイム×パートタイム	10	29%	9	26%	—
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	1	3%	2	6%	—
タイプD：専業主婦（夫）	8	23%	5	14%	—
タイプE：パート×パート	0	0%	0	0%	—
タイプE'：パート×パート（短）	0	0%	0	0%	—
タイプF：無業×無業	0	0%	0	0%	—

表 3－2 小学校児童の各年齢における家庭類型別児童数推計（令和 7～11 年度）

小学校						
家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
タイプA：ひとり親家庭	6%	88	87	84	82	80
タイプB：フルタイム×フルタイム	55%	767	762	734	713	700
タイプC：フルタイム×パートタイム	28%	394	392	378	367	360
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	3%	44	44	42	41	40
タイプD：専業主婦（夫）	8%	110	109	105	102	100
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0
低学年						
家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
タイプA：ひとり親家庭	3%	23	24	23	22	20
タイプB：フルタイム×フルタイム	66%	435	447	434	415	386
タイプC：フルタイム×パートタイム	31%	206	212	206	197	183
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプD：専業主婦（夫）	0%	0	0	0	0	0
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0
高学年						
家庭類型区分	潜在家族 類型割合	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
タイプA：ひとり親家庭	9%	739	710	680	671	691
タイプB：フルタイム×フルタイム	46%	63	61	58	58	59
タイプC：フルタイム×パートタイム	26%	338	325	311	307	316
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	26%	190	183	175	173	178
タイプD：専業主婦（夫）	6%	42	41	39	38	39
タイプD'：専業主婦（夫）	14%	106	101	97	96	99
タイプE：パート×パート	0%	0	0	0	0	0
タイプE'：パート×パート（短）	0%	0	0	0	0	0
タイプF：無業×無業	0%	0	0	0	0	0

(2) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）3歳～就学前

1号認定（認定こども園及び幼稚園）の対象となる潜在家庭類型（タイプC'、D、E'、F）と対象年齢（3～5歳）、及び利用意向率から算出された量の見込みは、表4の通りである。

表4 1号認定（認定こども園及び幼稚園）の量の見込み

家庭類型区分	利用 意向率	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
		614	560	522	482	451
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	児童数	84	76	71	66	61
ニーズ量（利用意向率⇒）	20%	17	15	14	13	12
タイプD：専業主婦（夫）	児童数	98	89	83	77	72
ニーズ量（利用意向率⇒）	100%	98	89	83	77	72
タイプE'：パート×パート（短）	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
タイプF：無業×無業	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
1号認定（認定こども園及び幼稚園）の量の見込み		114	104	97	90	84

(3) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）3歳～就学前

2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）の対象となる潜在家庭類型（タイプA、B、C、E）と対象年齢（3～5歳）、及び利用意向率から算出された量の見込みは、表5の通りである。

表5 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）の量の見込み

家庭類型区分	利用 意向率	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
		614	560	522	482	451
タイプA：ひとり親家庭	児童数	42	38	36	33	31
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	181	165	154	142	133
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	209	191	178	164	154
ニーズ量（利用意向率⇒）	13%	28	25	24	22	20
タイプE：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
2号認定（幼児期の学校教育希望）の量の見込み		28	25	24	22	20

(4) 2号認定（認定こども園及び保育所）3歳～就学前

2号認定（認定こども園及び保育所）の対象となる潜在家庭類型（タイプA、B、C、E）と対象年齢（3～5歳）、及び利用意向率から算出された量の見込みは、表6の通りである。

表6 2号認定（認定こども園及び保育所）の量の見込み

家庭類型区分	利用 意向率	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
		614	560	522	482	451
タイプA：ひとり親家庭	児童数	42	38	36	33	31
ニーズ量（利用意向率⇒）	67%	28	25	24	22	20
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	181	165	154	142	133
ニーズ量（利用意向率⇒）	92%	167	153	142	131	123
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	209	191	178	164	154
ニーズ量（利用意向率⇒）	87%	181	165	154	142	133
タイプE：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
2号認定（認定こども園及び保育所）の量の見込み		377	343	320	296	277

(5) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）0歳、1歳、2歳

3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の対象となる潜在家庭類型（タイプA、B、C、E）と対象年齢（0歳、1歳、2歳）、及び利用意向率から算出された量の見込みは、表7の通りである。

表7 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の量の見込み（※タイプEは0人で除外）

0歳

家庭類型区分	利用 意向率	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
		152	143	136	126	117
タイプA：ひとり親家庭	児童数	9	8	8	7	7
ニーズ量（利用意向率⇒）	100%	9	8	8	7	7
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	98	93	88	82	76
ニーズ量（利用意向率⇒）	91%	89	84	80	74	69
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	9	8	8	7	7
ニーズ量（利用意向率⇒）	100%	9	8	8	7	7
3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の量の見込み		107	101	96	89	83

1歳

家庭類型区分	利用 意向率	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
		157	144	132	122	108
タイプA：ひとり親家庭	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	93	85	78	72	64
ニーズ量（利用意向率⇒）	50%	46	42	39	36	32
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	56	51	47	43	38
ニーズ量（利用意向率⇒）	100%	56	51	47	43	38
3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の量の見込み		102	93	86	79	70

2歳

家庭類型区分	利用 意向率	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
		161	155	140	127	116
タイプA：ひとり親家庭	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	87	83	75	68	62
ニーズ量（利用意向率⇒）	86%	74	71	65	59	53
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	50	48	43	39	36
ニーズ量（利用意向率⇒）	88%	43	42	38	34	31
3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の量の見込み		118	113	102	93	85

(6) 時間外保育事業 0歳～就学前

時間外保育事業の対象となる潜在家庭類型（タイプA、B、C、E）と対象年齢（0歳～就学前）、及び利用意向率から算出された量の見込みは、表8の通りである。

表8 時間外保育事業の量の見込み

家庭類型区分	利用 意向率	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
		1,084	1,002	930	857	792
タイプA：ひとり親家庭	児童数	42	39	36	33	30
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	500	462	429	395	365
ニーズ量（利用意向率⇒）	29%	146	135	125	115	107
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	313	289	268	247	228
ニーズ量（利用意向率⇒）	3%	10	10	9	8	8
タイプE：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
時間外保育事業の量の見込み		156	144	134	124	114

（７）放課後児童健全育成事業 ３歳～就学前、１～３年生、４～６年生

放課後児童健全育成事業の対象となる潜在家庭類型（タイプＡ、Ｂ、Ｃ、Ｅ）と対象年齢（５歳児以上）、及び利用意向率から算出された量の見込みは、表９の通りである。

表９ 放課後児童健全育成事業の量の見込み

３歳～就学前

家庭類型区分	利用 意向率	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		614	560	522	482	451
タイプＡ：ひとり親家庭	児童数	42	38	36	33	31
ニーズ量（利用意向率⇒）	33%	14	13	12	11	10
タイプＢ：フルタイム×フルタイム	児童数	181	165	154	142	133
ニーズ量（利用意向率⇒）	85%	153	140	131	120	113
タイプＣ：フルタイム×パートタイム	児童数	209	191	178	164	154
ニーズ量（利用意向率⇒）	40%	84	76	71	66	61
タイプＥ：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
放課後児童健全育成事業の量の見込み		251	229	214	197	184

低学年

家庭類型区分	利用 意向率	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		663	683	663	633	589
タイプＡ：ひとり親家庭	児童数	23	24	23	22	20
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプＢ：フルタイム×フルタイム	児童数	435	447	434	415	386
ニーズ量（利用意向率⇒）	53%	229	236	229	218	203
タイプＣ：フルタイム×パートタイム	児童数	206	212	206	197	183
ニーズ量（利用意向率⇒）	11%	23	24	23	22	20
タイプＥ：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
放課後児童健全育成事業の量の見込み		252	259	251	240	223

高学年

家庭類型区分	利用 意向率	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		739	710	680	671	691
タイプＡ：ひとり親家庭	児童数	63	61	58	58	59
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプＢ：フルタイム×フルタイム	児童数	338	325	311	307	316
ニーズ量（利用意向率⇒）	31%	106	101	97	96	99
タイプＣ：フルタイム×パートタイム	児童数	190	183	175	173	178
ニーズ量（利用意向率⇒）	11%	21	20	19	19	20
タイプＥ：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
放課後児童健全育成事業の量の見込み		127	122	117	115	118

（８）子育て短期支援事業 ０歳～就学前

子育て短期支援事業の対象となる全ての家庭類型と対象年齢（０～５歳）、及び利用意向（利用意向率×利用意向平均日数（年あたり）、ただし親族・知人に預ける困難の度合いを考慮）から算出された量の見込みは、表 10 の通りである。

表 10 子育て短期支援事業の量の見込み（年あたり人日）

家庭類型区分	利用 意向率	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		1,084	1,002	930	857	792
タイプA：ひとり親家庭	児童数	42	39	36	33	30
ニーズ量（利用意向⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	500	462	429	395	365
ニーズ量（利用意向⇒）	21%	104	96	89	82	76
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	313	289	268	247	228
ニーズ量（利用意向⇒）	40%	125	116	107	99	91
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	児童数	83	77	72	66	61
ニーズ量（利用意向⇒）	75%	63	58	54	49	46
タイプD：専業主婦（夫）	児童数	146	135	125	115	107
ニーズ量（利用意向⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプE：パート×パート	児童数					
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプE'：パート×パート（短）	児童数					
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプF：無業×無業	児童数					
ニーズ量（利用意向⇒）						
子育て短期支援事業の量（日数/年）の見込み		292	270	250	231	213

（９）地域子育て支援拠点事業 ０～２歳

地域子育て支援拠点事業の対象となる全ての家庭類型と対象年齢（０～２歳）、及び利用意向（利用意向率×平均利用意向回数（月あたり））から算出された量の見込みは、表 11 の通りである。

表 11 地域子育て支援拠点事業の量の見込み（月あたりの人回）

家庭類型区分	利用 意向率	令和 7	令和 8	令和 9	令和10	令和11
		470	442	408	375	341
タイプA：ひとり親家庭	児童数	9	8	8	7	7
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	277	261	241	222	202
ニーズ量（利用意向率⇒）	288%	799	751	695	639	582
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	114	107	98	90	81
ニーズ量（利用意向率⇒）	267%	304	285	261	239	215
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	児童数	18	17	16	15	13
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプD：専業主婦（夫）	児童数	52	49	46	42	38
ニーズ量（利用意向率⇒）	493%	254	242	224	206	190
タイプE：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
タイプE'：パート×パート（短）	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
タイプF：無業×無業	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
地域子育て支援拠点事業の量（人日/月）の見込み		1357	1278	1180	1084	986

(10) 一時預かり事業（幼稚園型） 3歳～就学前

※東御市では算出しない。

(11) 一時預かり事業（その他） 0歳～就学前

一時預かり事業（その他）の対象となる全ての家庭類型と対象年齢（0～5歳）、及び利用意向（利用意向率×利用意向平均日数（年あたり））から算出された量の見込みは、表12の通りである。

表12 一時預かり事業（その他）の量の見込み（年あたり人日）

家庭類型区分	利用 意向率	令和7 1,084	令和8 1,002	令和9 930	令和10 857	令和11 792
タイプA：ひとり親家庭	児童数	42	39	36	33	30
ニーズ量（利用意向⇒）	1333%	556	514	477	439	406
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	500	462	429	395	365
ニーズ量（利用意向⇒）	491%	2458	2272	2110	1943	1796
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	313	289	268	247	228
ニーズ量（利用意向⇒）	1755%	5486	5070	4709	4337	4008
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	児童数	83	77	72	66	61
ニーズ量（利用意向⇒）	1225%	1021	944	877	807	746
タイプD：専業主婦（夫）	児童数	146	135	125	115	107
ニーズ量（利用意向⇒）	906%	1322	1222	1135	1046	966
タイプE：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプE'：パート×パート（短）	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプF：無業×無業	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
一時預かり事業（その他）の量（人日/年）の見込み		10843	10022	9307	8573	7923

(12) 病児保育事業 0歳～就学前

病児保育事業の対象となる全ての家庭類型と対象年齢（0～5歳）、及び利用意向（利用意向率×利用意向平均日数（年あたり））から算出された量の見込みは、表13の通りである。

表13 病児保育事業の量の見込み（年あたり人日）

家庭類型区分	利用 意向率	令和7 1,084	令和8 1,002	令和9 930	令和10 857	令和11 792
タイプA：ひとり親家庭	児童数	42	39	36	33	30
ニーズ量（利用意向率⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	500	462	429	395	365
ニーズ量（利用意向率⇒）	536%	2682	2479	2302	2121	1960
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	313	289	268	247	228
ニーズ量（利用意向率⇒）	187%	584	539	501	461	426
タイプE：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向率⇒）						
病児保育事業の量（人日/年）の見込み		3266	3019	2803	2582	2386

(13) 子育て援助活動支援事業（就学時対象のファミリー・サポート・センター） 1～3年生、4～6年生

子育て援助活動支援事業の対象となる全ての家庭類型と対象年齢（5歳児以上）及び利用意向率から算出された子育て援助活動支援事業の量の見込みは、表14の通りである。

表14 子育て援助活動支援事業（就学時対象のファミリー・サポート・センター）の量の見込み

低学年

家庭類型区分	利用 意向率	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
		663	683	663	633	589
タイプA：ひとり親家庭	児童数	23	24	23	22	20
ニーズ量（利用意向⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	435	447	434	415	386
ニーズ量（利用意向⇒）	32%	137	141	137	131	122
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	206	212	206	197	183
ニーズ量（利用意向⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプD：専業主婦（夫）	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプE：パート×パート	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプE'：パート×パート（短）	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプF：無業×無業	児童数	0	0	0	0	0
ニーズ量（利用意向⇒）						
子育て援助活動支援事業の量の見込み		137	141	137	131	122

高学年

家庭類型区分	利用 意向率	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
		739	710	680	671	691
タイプA：ひとり親家庭	児童数	63	61	58	58	59
ニーズ量（利用意向⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプB：フルタイム×フルタイム	児童数	338	325	311	307	316
ニーズ量（利用意向⇒）	31%	106	101	97	96	99
タイプC：フルタイム×パートタイム	児童数	190	183	175	173	178
ニーズ量（利用意向⇒）	33%	63	61	58	58	59
タイプC'：フルタイム×パートタイム（短）	児童数	42	41	39	38	39
ニーズ量（利用意向⇒）	0%	0	0	0	0	0
タイプD：専業主婦（夫）	児童数	106	101	97	96	99
ニーズ量（利用意向⇒）	100%	106	101	97	96	99
タイプE：パート×パート	児童数					
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプE'：パート×パート（短）	児童数					
ニーズ量（利用意向⇒）						
タイプF：無業×無業	児童数					
ニーズ量（利用意向⇒）						
子育て援助活動支援事業の量の見込み		274	264	253	249	257

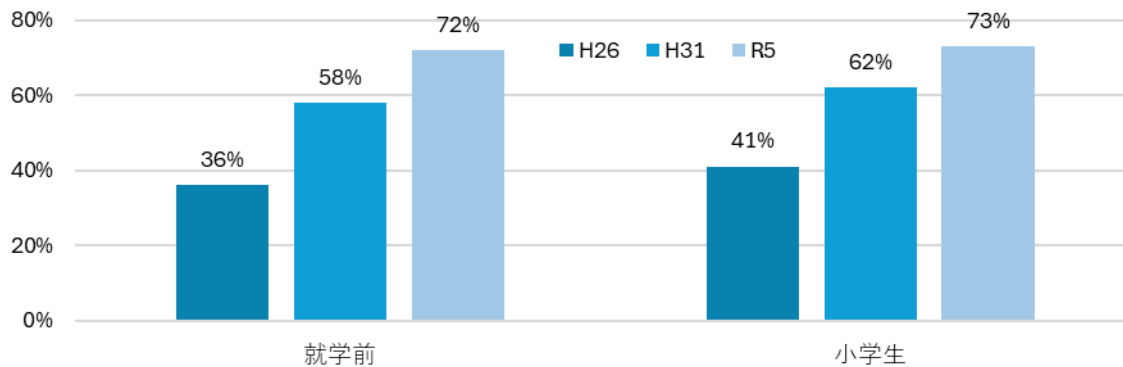
【巻末資料】

「第3期東御市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査の集計結果

全ての設問項目の集計結果から、特に注目すべき項目のみ、過去との比較をグラフ化した。

●お子さんとそのご家族の状況について

図1 「お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか」の問いに対して、「父母ともに」と回答した割合



●お子さんの子育てに関する環境や悩みについて

図2 「日ごろ、お子さんを預かってもらえる（小学生は「お子さんに何かあったときに頼りにできる」）親族・知人はいますか。」の問いに対して、「いない」と回答した割合

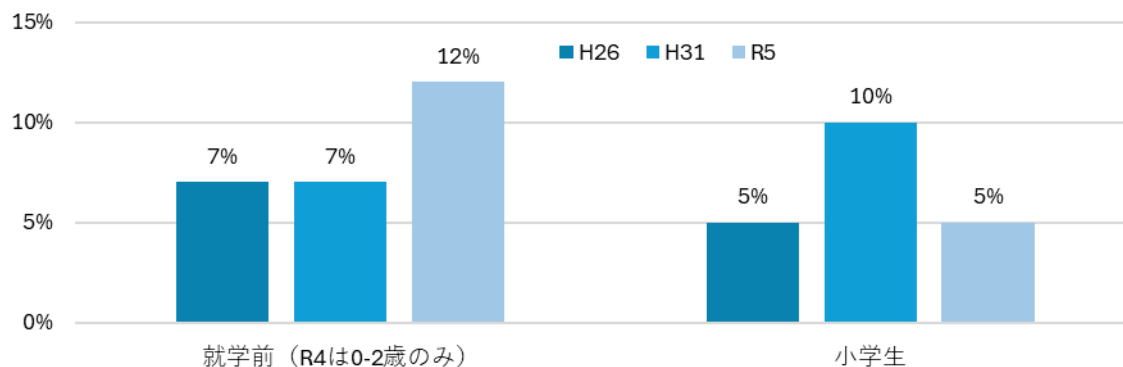


図3 「お子さんの子育てや教育をする上で、配偶者以外に気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。」の問いに対して、「いない/ない」と回答した割合

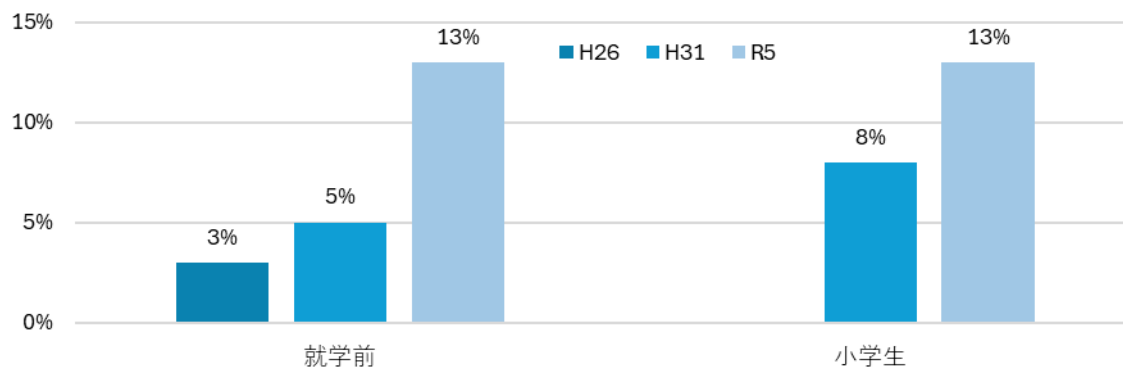
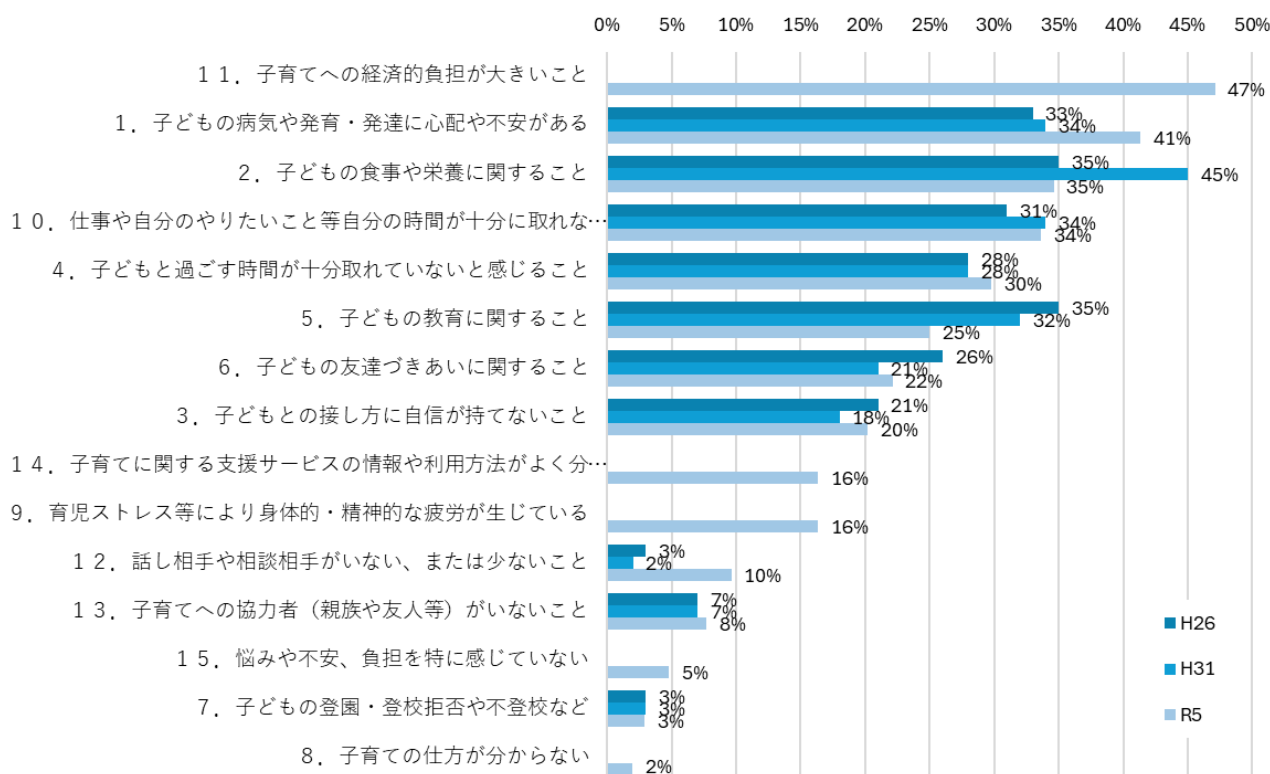
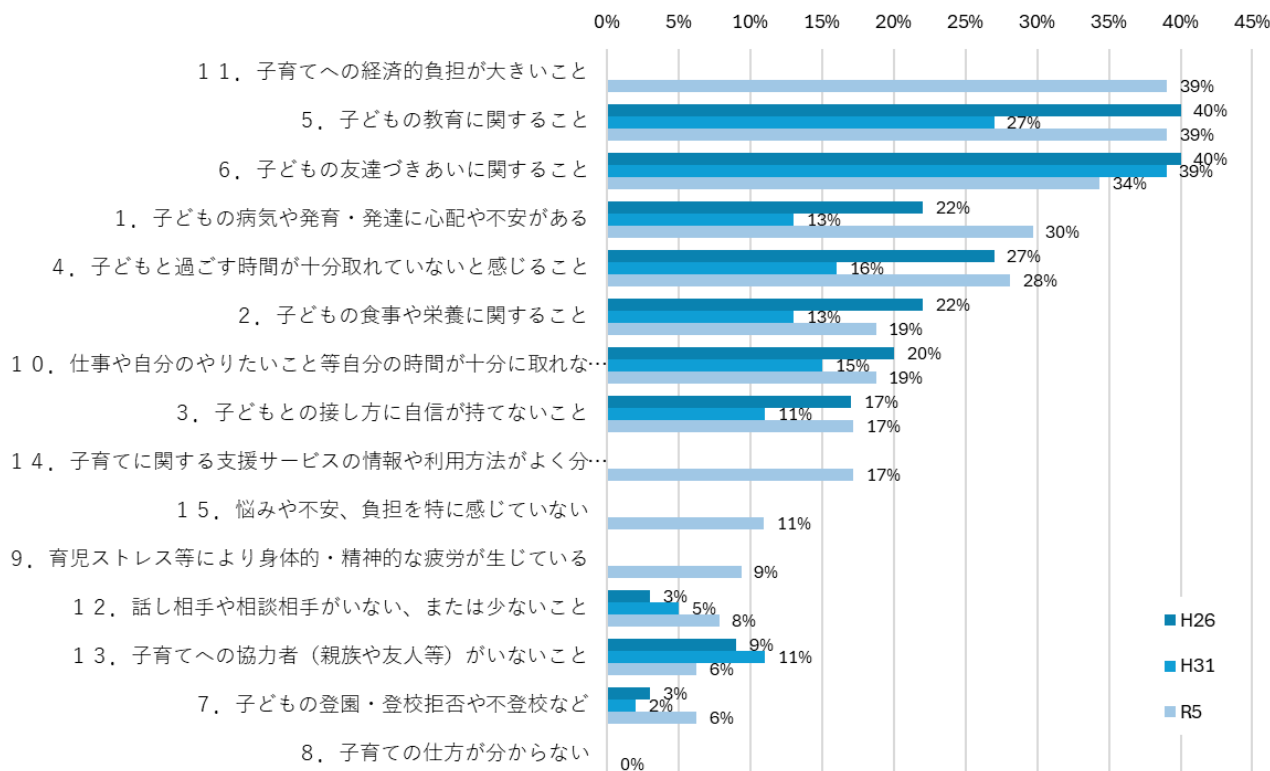


図4 「子育てをするなかで、悩みや不安、負担を感じる（感じた）ことがあるとすれば、どのようなことですか。」の問いに対する回答（複数回答で、R5年度の回答で多い順に並び替え）
《就学前》



《小学生》



●母親の現在の仕事の状況について

図5 「母親の就労状況について」の問いに対して、「フルタイム（産休等含む）」と回答した割合

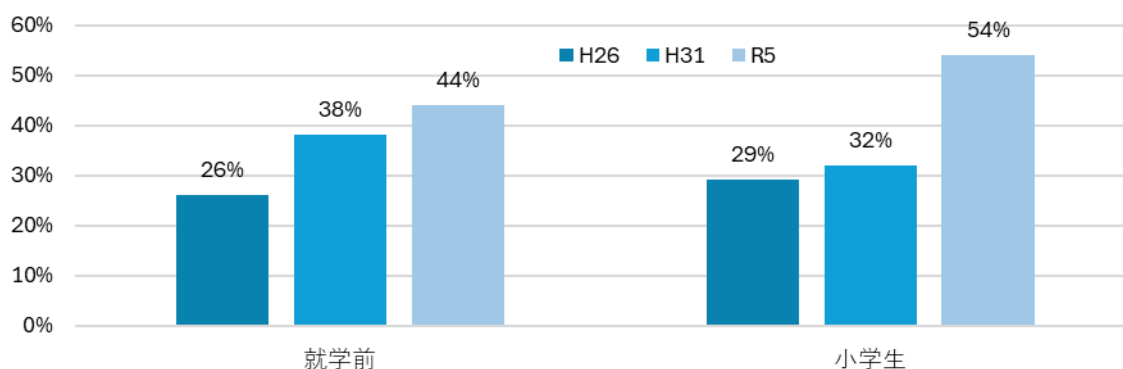


図6 「フルタイムへの転職希望はありますか。」の問いに対して、「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない。」と回答した割合

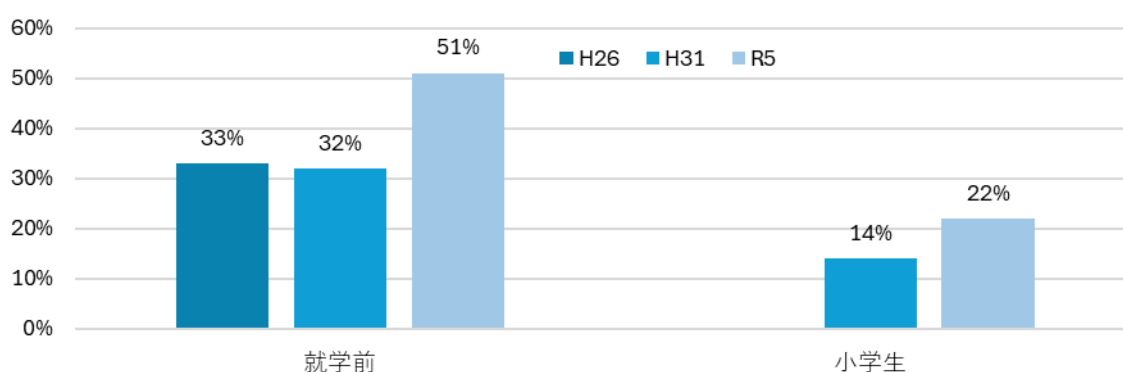
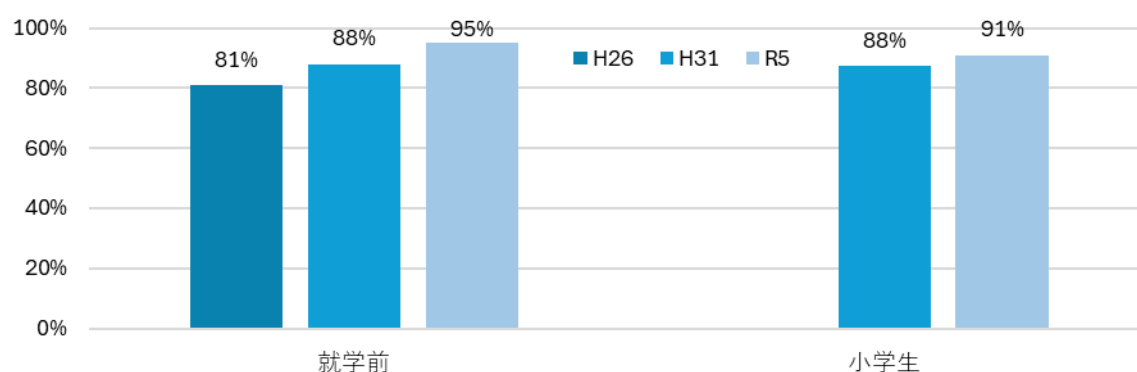


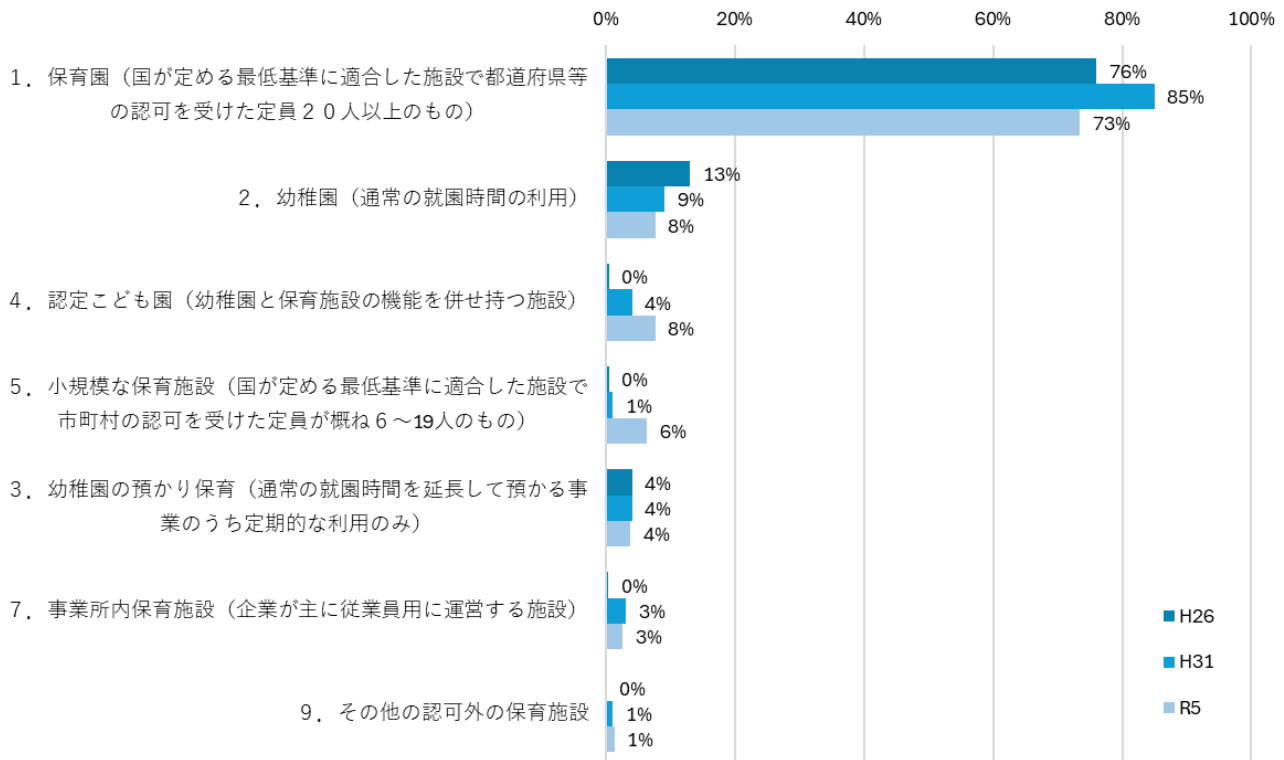
図7 「就労したいという希望はありますか。」の問いに対して、「就労したい」と回答した割合



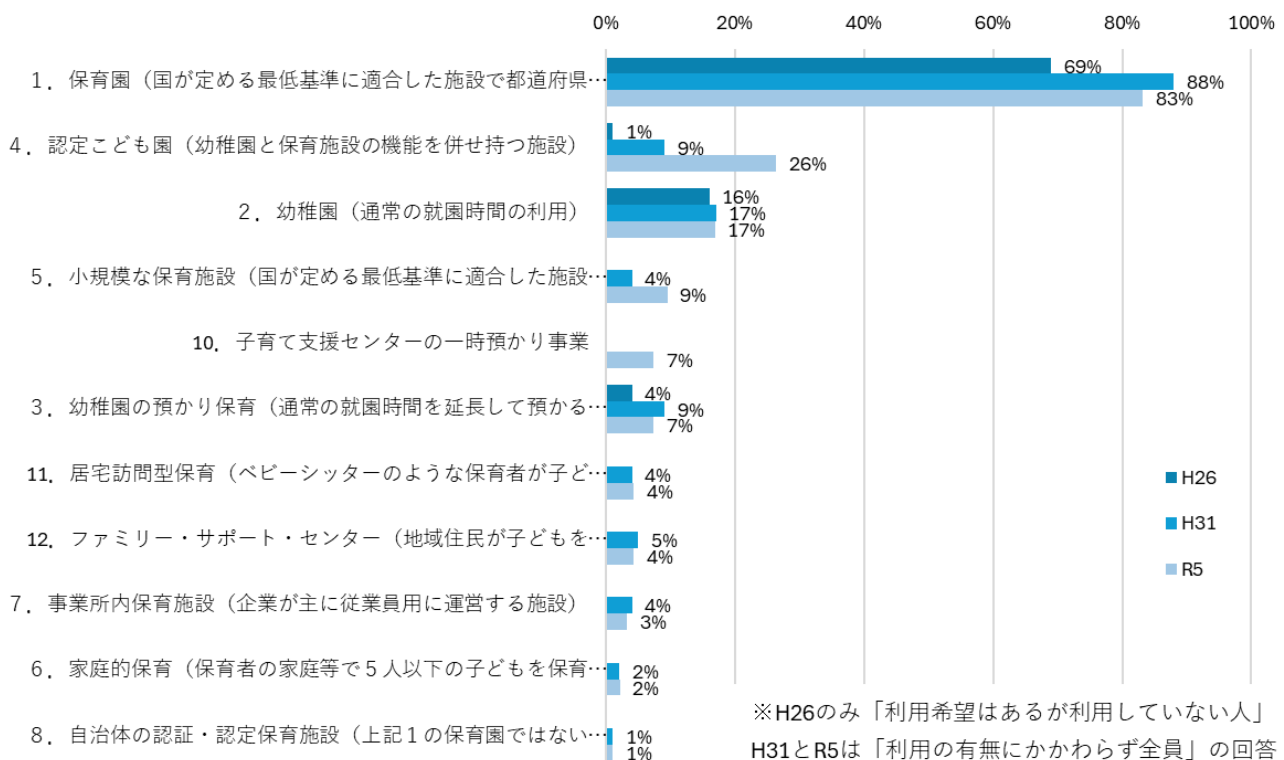
●平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（0歳～就学前）

図8 「年間を通じて平日は、定期的にどのような教育・保育事業等を利用していますか（現状）、したいですか（希望）。」の問いに対する回答（複数回答で、R5年度の回答で多い順に並び替え）

《現状》



《希望》



●土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用状況について（0歳～就学前）

図9 「土曜日に、定期的な教育・保育事業等の利用希望はありますか。」の問いに対する回答

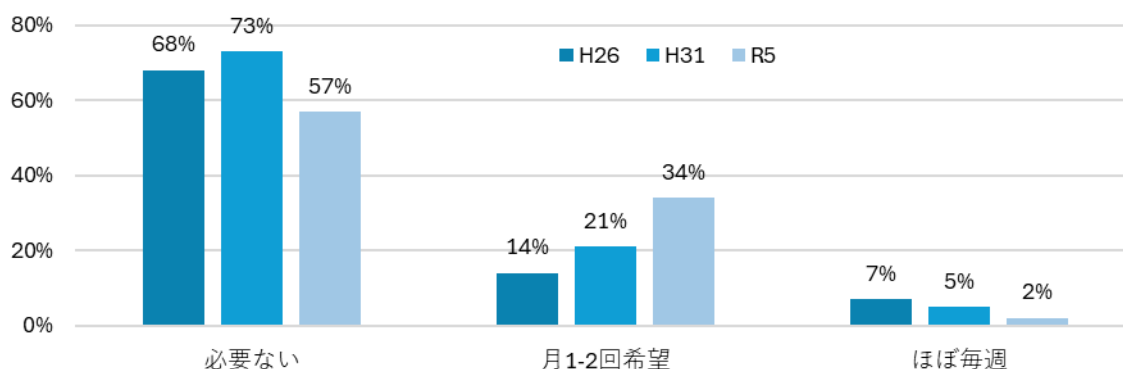


図10 「毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由は何ですか。」の問いに対する回答

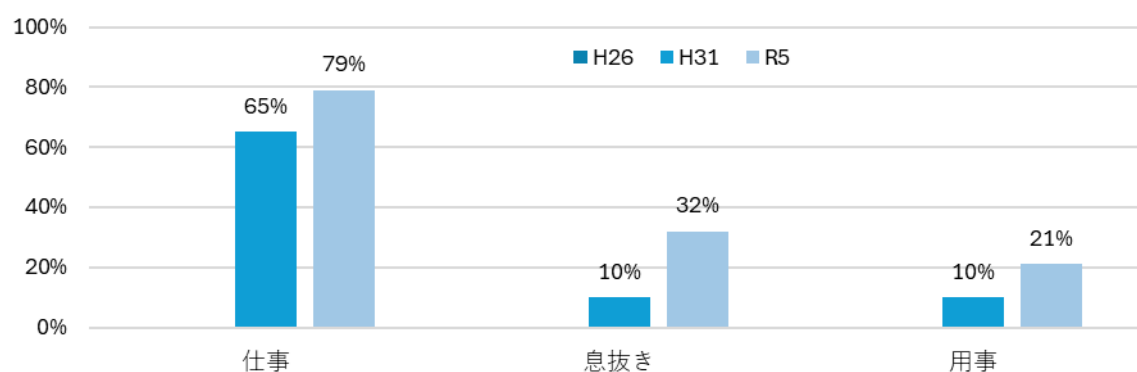
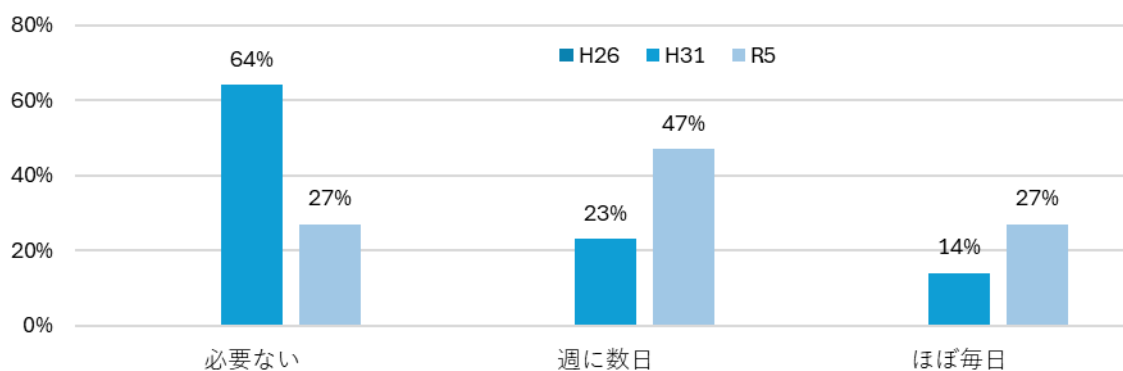


図11 「長期の休暇期間中の教育・保育事業等の利用を希望しますか。」の問いに対する回答



●不定期的に保育園・幼稚園等の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について（0歳～就学前）

図 12 「私用、親の通院、不定期的に働くなどの目的で、不定期的に保育園・幼稚園等を利用したいと思いますか。」の問いに対する回答

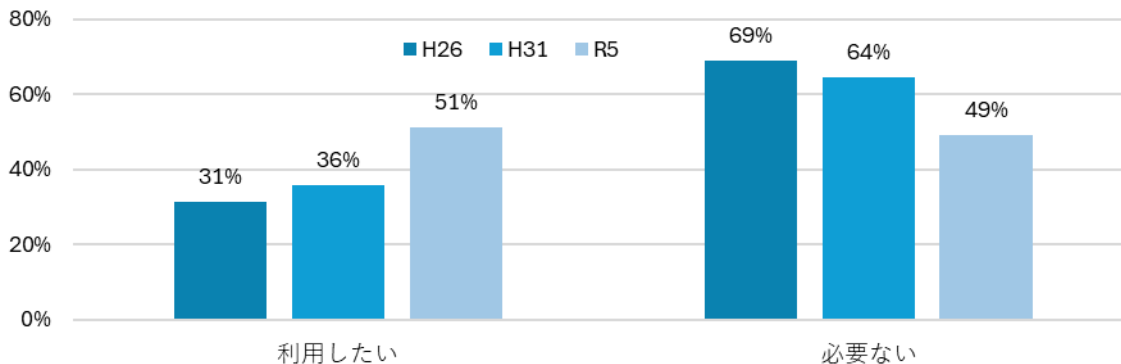
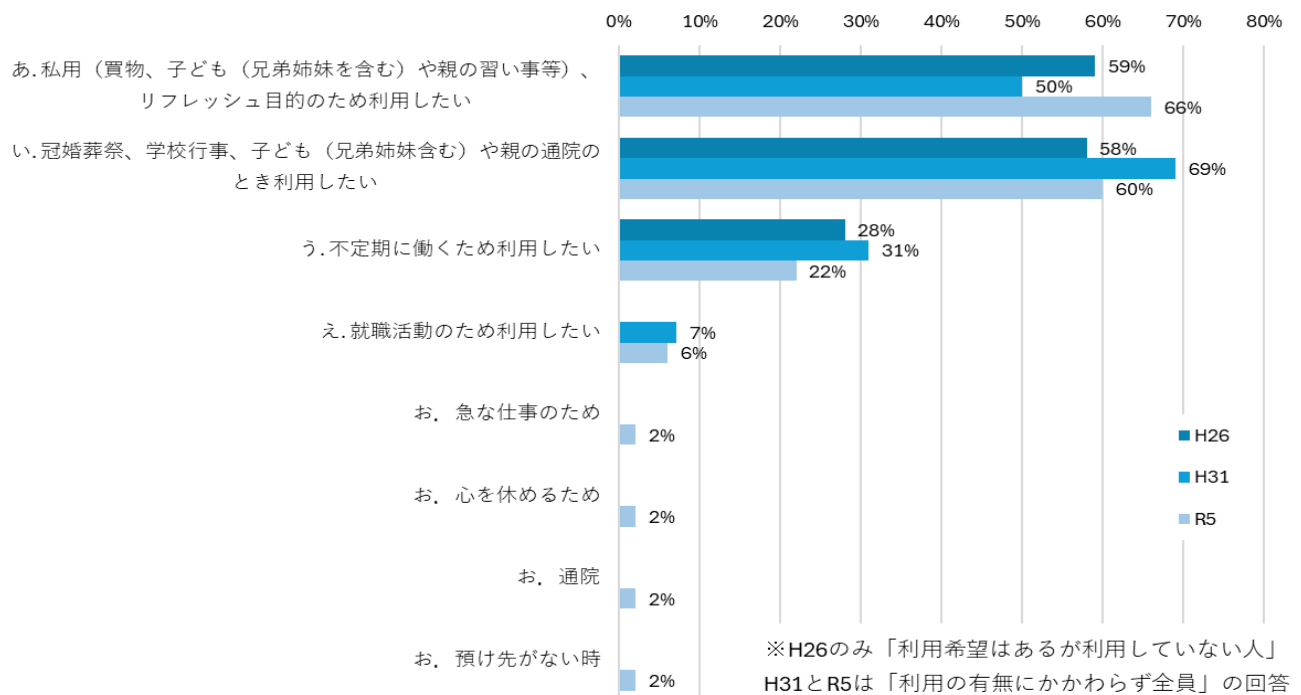
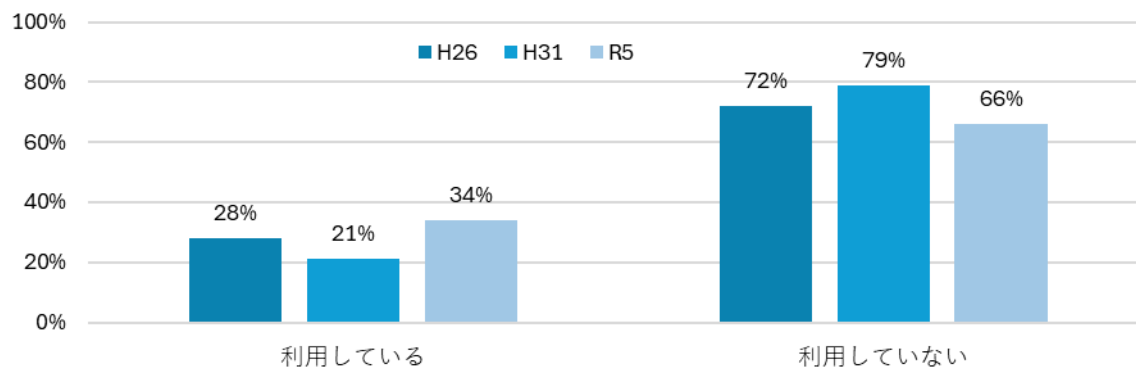


図 13 「利用したい場合、利用希望の目的についてお答えください。」の問いに対する回答



●東御市子育て支援センターの利用状況について（0～2歳児）

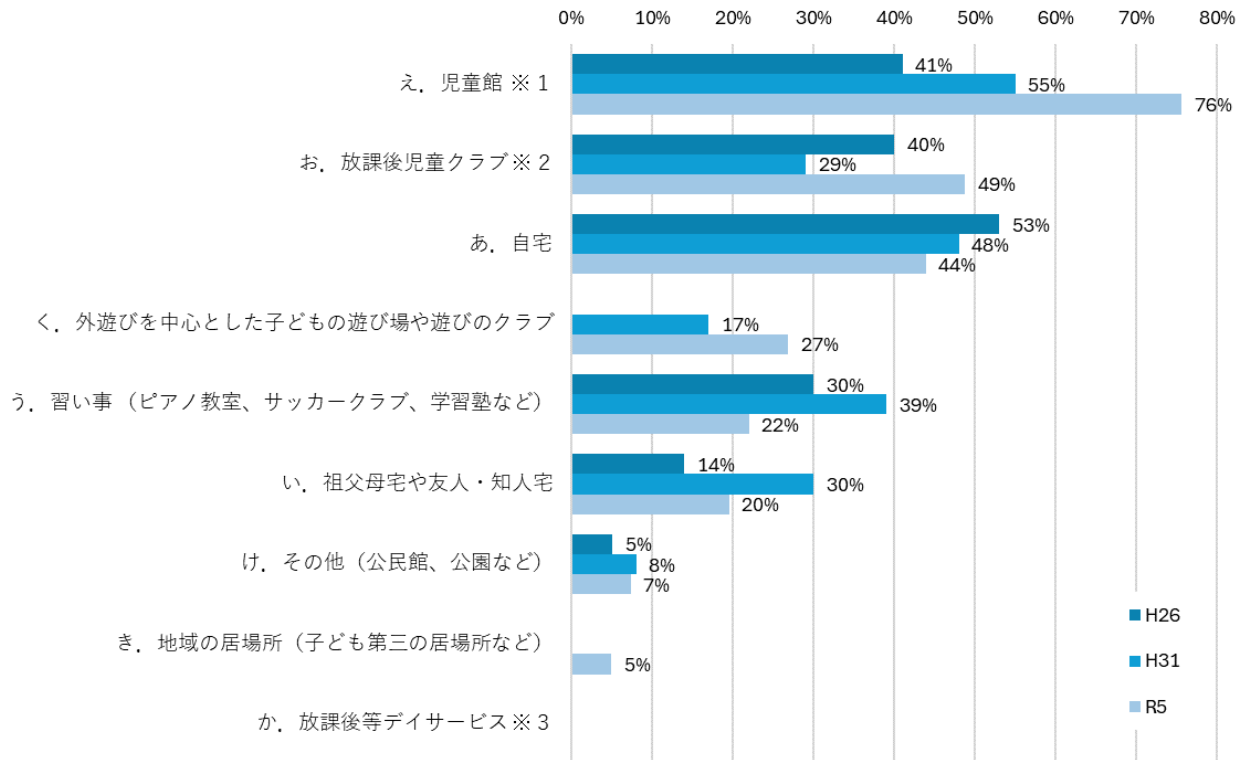
図 14 「あなたの家庭では現在、市の「東部子育て支援センター」、「北御牧子育て支援センター」を利用していますか。」の問いに対する回答



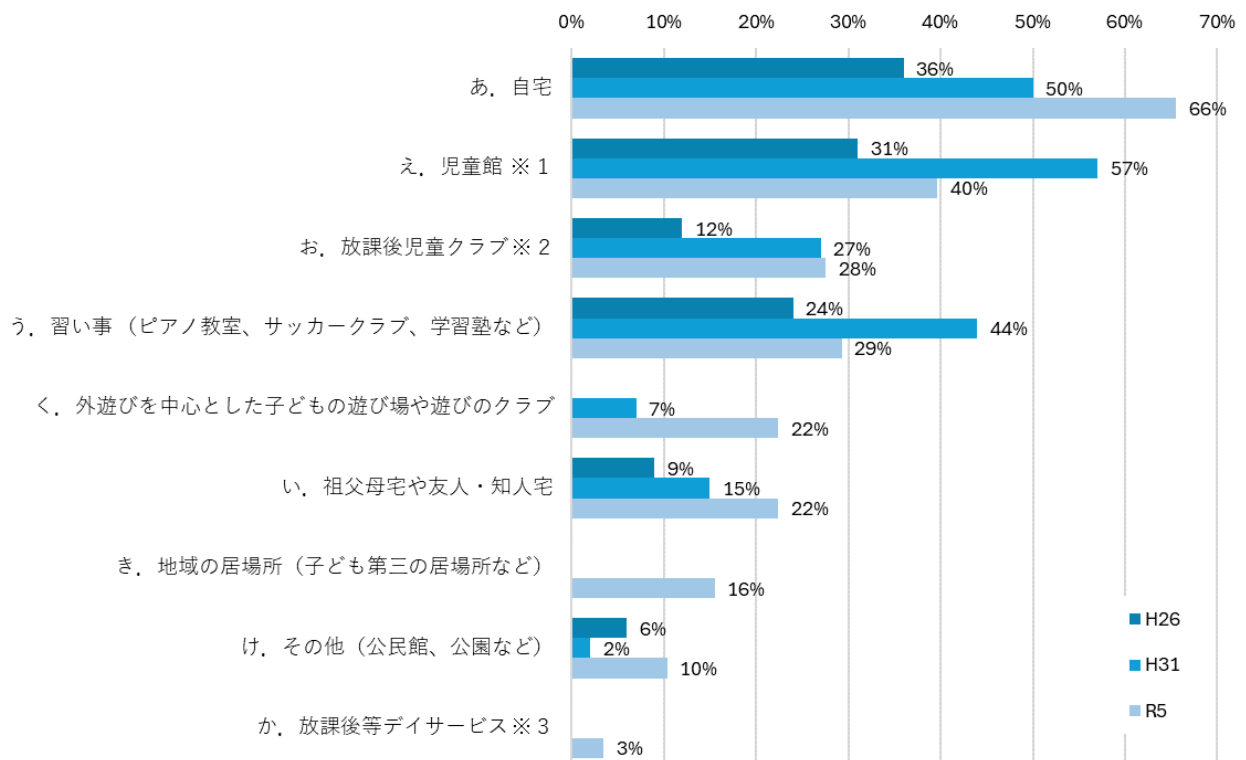
●放課後の過ごし方の希望等について（3歳～就学前、小学生）

図15 「放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。」の問いに対する回答

《3歳～就学前》

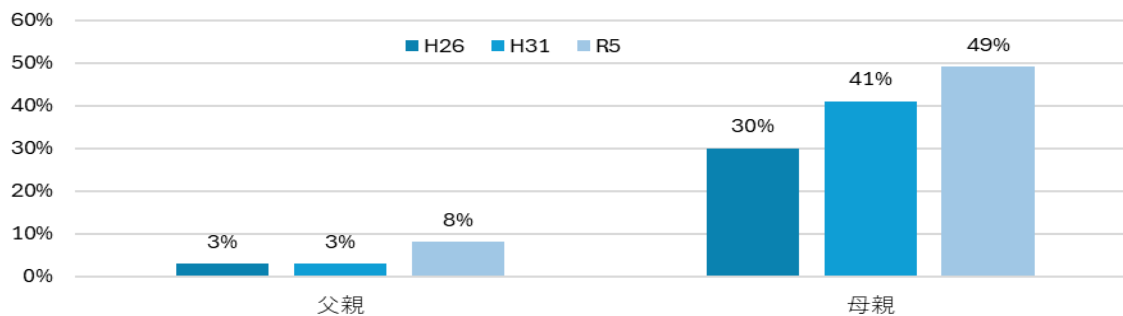


《小学生》



●育児休業など職場での仕事と子育ての両立支援制度について（0歳～就学前）

図 16 「育児休業を取得しましたか。」の問いに対して「取得した」と回答した割合



●子育て全般について

図 17 東御市における子育ての環境や支援について

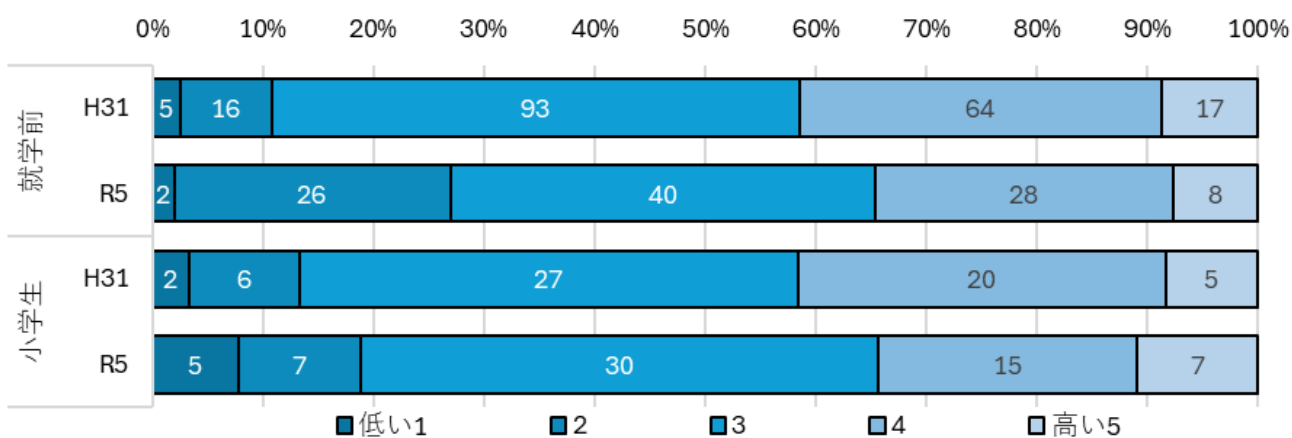


図 18 「子育てについてどのように感じていますか。」の問いに対して、「楽しいと感じることの方が多い」と回答した割合

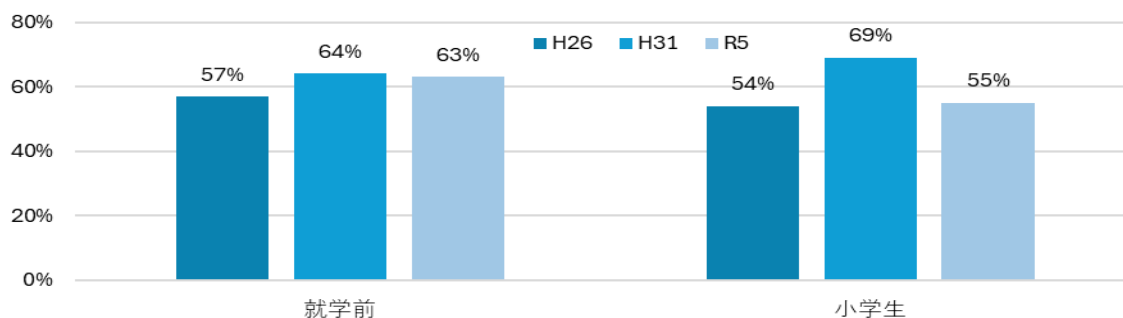
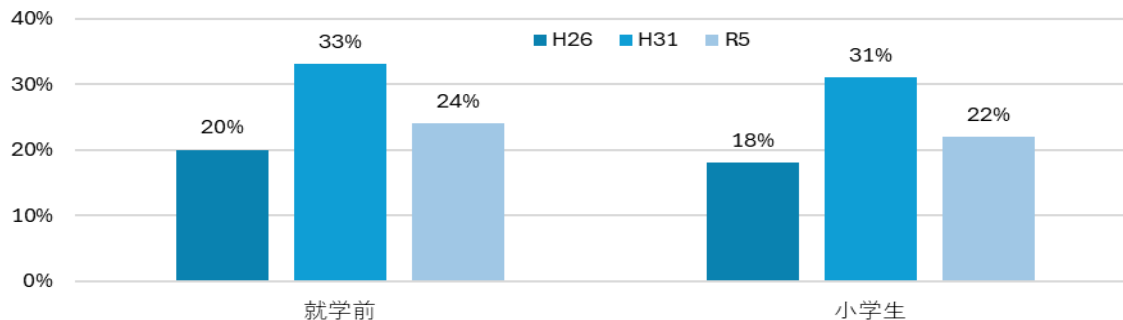


図 19 「東御市は子育てがしやすいまちだと思いますか。」の問いに対して、「子育てがしやすい」と回答した割合



●あて名のお子さんとそのご家族の状況について

この調査にご回答いただく方はどなたですか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 母親	46	42	51	139	77%	95%	80%	83%
2. 父親	14	2	12	28	23%	5%	19%	17%
祖父			1	1			2%	1%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 配偶者がいる	59	42	59	160	98%	95%	92%	95%
2. 配偶者はいない	1	2	4	7	2%	5%	6%	4%
(空白)			1	1			2%	1%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

現在、お住まいの地区はどちらですか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 田中	24	17	15	56	40%	39%	23%	33%
2. 滋野	12	7	14	33	20%	16%	22%	20%
3. 祢津	9	8	14	31	15%	18%	22%	18%
4. 和	10	7	12	29	17%	16%	19%	17%
5. 北御牧	4	3	9	16	7%	7%	14%	10%
6. わからない	1	2		3	2%	5%		2%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

あて名のお子さんの生まれ年をお答えください。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2023年	9			9	15%			9%
2022年	9			9	15%			9%
2021年	22			22	37%			21%
2020年	20	6		26	33%	14%		25%
2019年		18		18		41%		17%
2018年		13		13		30%		13%
2017年		7		7		16%		7%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

あて名のお子さんは現在何年生ですか。

	人数				人数 ※小学生のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1 年生			12	12			19%	19%
2 年生			7	7			11%	11%
3 年生			10	10			16%	16%
4 年生			14	14			22%	22%
5 年生			7	7			11%	11%
6 年生			14	14			22%	22%
総計			64	64			100%	100%

あて名のお子さんを含めてお子さんは何人いらっしゃいますか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1人	23	10	14	47	38%	23%	22%	28%
2人	21	22	25	68	35%	50%	39%	40%
3人	13	8	21	42	22%	18%	33%	25%
4人	2	2	2	6	3%	5%	3%	4%
5人		1	1	2		2%	2%	1%
6人以上		1	1	2		2%	2%	1%
(空白)	1			1	2%			1%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 父母ともに	44	31	47	122	73%	70%	73%	73%
2. 主に母親	16	12	16	44	27%	27%	25%	26%
3. 主に父親			1	1			2%	1%
母親、祖父母		1		1		2%		1%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

●あて名のお子さんの子育てに関する環境や悩みについて

日ごろ、あて名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。（複数回答可） 【問A】

	人数				パーセント		※0-2歳のみ	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	37			37	62%			62%
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	20			20	33%			33%
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	2			2	3%			3%
5. いずれもない	7			7	12%			12%

【問A】で1か2を選んだ方へ、預かってもらっている状況についてお答えください。（複数回答可）

	人数				パーセント		※0-2歳57名中	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
ア、祖父母等が子どもを預かることについて、特に問題はなく安心して子どもをみてもらえる	34			34	60%			60%
イ、祖父母等の身体的負担が心配である	18			18	32%			32%
ウ、祖父母等の時間的制約や精神的負担が心配である	18			18	32%			32%
エ、親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	13			13	23%			23%
オ、子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	3			3	5%			5%

【問A】で3か4を選んだ方へ、預かってもらっている状況についてお答えください。（複数回答可）

	人数				パーセント		※2名中	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
ア、友人・知人が子どもを預かることについて、特に問題はなく安心して子どもをみてもらえる	1			1	50%			50%
イ、友人・知人の身体的負担が心配である	1			1	50%			50%
ウ、友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である	1			1	50%			50%

あて名のお子さんに何かあったときに頼りにできる親戚・知人などはいますか。

	人数				パーセント		※0-2歳除く	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 概ね30分以内に行き来できるところに、頼りにできる人がいる		29	51	80		66%	80%	74%
2. 行き来に30分以上時間がかかるが、頼りにできる人がいる		11	10	21		25%	16%	19%
3. だれもない		4	3	7		9%	5%	6%
総計		44	64	108		100%	100%	100%

お子さんの子育てや教育をする上で、配偶者以外に気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. いる/ある	50	40	56	146	83%	91%	88%	87%
2. いない/ない	10	4	8	22	17%	9%	13%	13%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答可）

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 祖父母や家族	45	38	51	134	75%	86%	80%	80%
2. 友人や知人	26	33	43	102	43%	75%	67%	61%
4. 保育園の保育士	16	21	2	39	27%	48%	3%	23%
6. かかりつけの医師	5	4	7	16	8%	9%	11%	10%
7. 子育て支援センター等	12	3		15	20%	7%		9%
3. 近所の人	2	4	8	14	3%	9%	13%	8%
5. 幼稚園教諭	2	3	2	7	3%	7%	3%	4%
7. 児童館・放課後児童クラブ等			3	3			5%	2%
8. 東御市子どもサポートセンター	1	1	2	4	2%	2%	3%	2%
9. 助産師	1			1	2%			1%
9. 職場の先輩		1		1		2%		1%

子育てをするなかで、悩みや不安、負担を感じる（感じた）ことがあるとすれば、どのようなことですか。（複数回答可）

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1 1. 子育てへの経済的負担が大きいこと	31	18	25	74	52%	41%	39%	44%
1. 子どもの病気や発育・発達に心配や不安がある	24	19	19	62	40%	43%	30%	37%
5. 子どもの教育に関すること	15	11	25	51	25%	25%	39%	30%
4. 子どもと過ごす時間が十分取れていないと感じること	19	12	18	49	32%	27%	28%	29%
2. 子どもの食事や栄養に関すること	23	13	12	48	38%	30%	19%	29%
1 0. 仕事や自分のやりたいこと等自分の時間が十分に取れないこと	22	13	12	47	37%	30%	19%	28%
6. 子どもの友達つきあいに関すること	12	11	22	45	20%	25%	34%	27%
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	12	9	11	32	20%	20%	17%	19%
1 4. 子育てに関する支援サービスの情報や利用方法がよく分からない	12	5	11	28	20%	11%	17%	17%
9. 育児ストレス等により身体的・精神的な疲労が生じている	9	8	6	23	15%	18%	9%	14%
1 2. 話し相手や相談相手がいない、または少ないこと	4	6	5	15	7%	14%	8%	9%
1 3. 子育てへの協力者（親族や友人等）がいないこと	4	4	4	12	7%	9%	6%	7%
1 5. 悩みや不安、負担を特に感じていない	4	1	7	12	7%	2%	11%	7%
7. 子どもの登園・登校拒否や不登校など	1	2	4	7	2%	5%	6%	4%
8. 子育ての仕方が分からない	2			2	3%	0%	0%	1%
1 6. 何人か子どもを育て末っ子だから、心に余裕が持てるようになったので、今は楽しめてる。初めての子どもの時は、余裕なかった。			1	1	0%	0%	2%	1%
1 6. 急に子供の服や物が必要になった時に市内にお店がない		1		1	0%	2%	0%	1%
1 6. 子どものネット、ゲーム依存に対処すること			1	1	0%	0%	2%	1%
1 6. 住む場所について。PTAや地区の役員の負担を感じる。			1	1	0%	0%	2%	1%
1 6. 親の体調不良時などに頼れる人が居ない	1			1	2%	0%	0%	1%

●あて名のお子さんの母親の現在の仕事の状況について

父子家庭の場合は次へ飛びます

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
父子家庭である（次へ飛ぶ）		1		1		2%		1%
父子家庭ではない	58	39	62	159	97%	89%	97%	95%
(空白)	2	4	2	8	3%	9%	3%	5%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

母親の就労状況についてお答えください。

	人数				パーセント ※166名中			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. フルタイムで働いている	18	13	34	65	30%	30%	54%	39%
2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中等である	14			14	23%			8%
3. パート・アルバイトなどで働いている	17	18	18	53	28%	42%	29%	32%
4. パート・アルバイトなどで働いているが、産休・育休・介護休業中等である	2	2		4	3%	5%		2%
5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	9	10	11	30	15%	23%	17%	18%
総計	60	43	63	166	100%	100%	100%	100%

【1，2フルタイムで回答】1日あたりの働いている時間（残業時間を含む）をお答えください。

	人数				パーセント ※フルタイム			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
4時間	1		1	2	3%		3%	3%
6時間	1	2	2	5	3%	15%	6%	6%
7時間	6	1	3	10	19%	8%	9%	13%
8時間	16	6	16	38	50%	46%	46%	48%
9時間	5	2	11	18	16%	15%	31%	23%
10時間以上	3	2	2	7	9%	15%	6%	9%
総計	32	13	35	80	100%	100%	100%	100%

【1，2フルタイムで回答】1週間あたりの働いている日数をお答えください。

	人数				パーセント ※フルタイム			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
4日	1			1	3%			1%
5日	30	12	31	73	94%	92%	89%	91%
6日	1	1	3	5	3%	8%	9%	6%
7日			1	1			3%	1%
総計	32	13	35	80	100%	100%	100%	100%

【3， 4 パート等で回答】 1日あたりの働いている時間（残業時間を含む）をお答えください。

	人数				パーセント		※パート等	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2時間			1	1			6%	2%
3時間	1	1		2	5%	5%		4%
4時間	1	2	1	4	5%	10%	6%	7%
5時間	7	9	4	20	37%	45%	22%	35%
6時間	5	6	6	17	26%	30%	33%	30%
7時間	4	1	4	9	21%	5%	22%	16%
8時間	1	1	2	4	5%	5%	11%	7%
総計	19	20	18	57	100%	100%	100%	100%

【3， 4 パート等で回答】 1週間あたりの働いている日数をお答えください。

	人数				パーセント		※パート等	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2日		2		2		10%		4%
3日	1	4	1	6	5%	20%	6%	11%
4日	8	6	4	18	42%	30%	24%	32%
5日	10	8	11	29	53%	40%	65%	51%
6日			1	1			6%	2%
総計	19	20	17	56	100%	100%	100%	98%

【3， 4 パート等で回答】 フルタイムへの転職希望はありますか。

	人数				パーセント		※パート等	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある。	3		3	6	16%		17%	11%
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない。	10	10	4	24	53%	50%	22%	42%
3. パート・アルバイト等の就労をこのまま続けることを希望する。	6	9	11	26	32%	45%	61%	46%
4. パート・アルバイト等をやめたいと思っている。		1		1		5%		2%
総計	19	20	18	57	100%	100%	100%	100%

【5．働いていないで回答】 就労したいという希望はありますか。

	人数				パーセント		※無職	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい。	2	3	9	14	22%	30%	82%	47%
2. 1年より先、一番小さい子どもが、大きくなったところに就労したい。	7	6	1	14	78%	60%	9%	47%
3. 就労の予定はない。		1	1	2		10%	9%	7%
総計	9	10	11	30	100%	100%	100%	100%

【1． 1年以内就労希望で回答】 希望する就労形態についてお答えください

	人数				パーセント		※早く就労希望	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
ア、フルタイム（1週間5日程度で、1日8時間程度の就労）			4	4			44%	29%
イ、パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）	2	3	5	10	100%	100%	56%	71%
総計	2	3	9	14	100%	100%	100%	100%

「イ、パートタイム、アルバイト等」を選んだ方へ、希望する1週間あたりの就労日数をお答えください

	人数				パーセント ※パート等希望			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
3日	1		1	2	50%		20%	20%
4日		2	3	5		67%	60%	50%
5日	1	1	1	3	50%	33%	20%	30%
総計	2	3	5	10	100%	100%	100%	100%

「イ、パートタイム、アルバイト等」を選んだ方へ、希望する1日あたりの就労時間をお答えください

	人数				パーセント ※パート等希望			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
4時間		2	2	4		67%	40%	40%
5時間	1	1	2	4	50%	33%	40%	40%
6時間			1	1			20%	10%
7時間	1			1	50%			10%
総計	2	3	5	10	100%	100%	100%	100%

1年より先、一番小さい子どもが大きくなったころとは、具体的に何歳ころに就労したいですか。

	人数				パーセント ※遅く就労希望			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2 歳	1			1	14%			7%
3 歳	3	3		6	43%	50%		43%
4 歳	1	2		3	14%	33%		21%
7 歳	1	1		2	14%	17%		14%
1 2 歳	1			1	14%			7%
1 5 歳			1	1			100%	7%
総計	7	6	1	14	100%	100%	100%	100%

●あて名のお子さんの父親の現在の仕事の状況について

母子家庭の場合は次へ飛びます

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
母子家庭である（次へ飛ぶ）	1	3	4	8	2%	7%	6%	5%
母子家庭ではない	56	38	59	153	93%	86%	92%	91%
(空白)	3	3	1	7	5%	7%	2%	4%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

父親の就労状況についてお答えください。

	人数				パーセント ※158名中			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. フルタイムで働いている	59	39	59	157	100%	100%	98%	99%
2. フルタイムで働いているが、育休・介護休業中等である			1	1			2%	1%
総計	59	39	60	158	100%	100%	100%	100%

1日あたりの働いている時間（残業時間を含む）をお答えください。

	人数				パーセント ※159名中			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
7時間			2	2			3%	1%
8時間	23	16	25	64	39%	39%	42%	40%
9時間	17	10	14	41	29%	24%	24%	26%
10時間以上	19	15	18	52	32%	37%	31%	33%
総計	59	41	59	159	100%	100%	100%	100%

1週間あたりの働いている日数をお答えください。

	人数				パーセント ※160名中			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
4日		3		3		7%		2%
5日	39	27	41	107	66%	66%	68%	67%
6日	17	10	15	42	29%	24%	25%	26%
7日	3	1	4	8	5%	2%	7%	5%
総計	59	41	60	160	100%	100%	100%	100%

●あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所など「定期的な教育・保育事業等」を利用されていますか。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用している	35	44		79	58%	100%		76%
2. 利用していない	25			25	42%			24%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

あて名のお子さんは、年間を通じて平日は、定期的にどのような教育・保育事業等を利用していますか。（複数回答可）

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）	27	31		58	77%	70%		73%
2. 幼稚園（通常就園時間の利用）	1	5		6	3%	11%		8%
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	2	4		6	6%	9%		8%
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6 ～19 人のもの）	3	2		5	9%	5%		6%
3. 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	1	2		3	3%	5%		4%
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	2			2	6%			3%
9. その他の認可外の保育施設		1		1		2%		1%

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在、1週間あたり何日利用していますか。

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2日	1			1	3%			1%
5日	34	44		78	97%	100%		99%
総計	35	44		79	100%	100%		100%

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在、何時から利用していますか。

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
7:00		3		3		7%		4%
8:00	22	20		42	63%	45%		53%
9:00	13	21		34	37%	48%		43%
総計	35	44		79	100%	100%		100%

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在、何時まで利用していますか。

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
12:00	1			1	3%			1%
15:00	2	7		9	6%	16%		11%
16:00	10	21		31	29%	48%		39%
17:00	8	4		12	23%	9%		15%
18:00	13	9		22	37%	20%		28%
19:00	1	3		4	3%	7%		5%
総計	35	44		79	100%	100%		100%

【希望】として、教育・保育事業を1週間あたり平日に、何日利用したいですか。

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
3日	1			1	3%			1%
5日	34	44		78	97%	100%		99%
総計	35	44		79	100%	100%		100%

【希望】として、教育・保育事業を平日に、何時から利用したいですか。

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
7:00	9	7		16	26%	16%		21%
8:00	19	24		43	56%	55%		55%
9:00	6	13		19	18%	30%		24%
総計	34	44		78	100%	100%		100%

【希望】として、教育・保育事業を平日に、何時まで利用したいですか。

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
15:00		4		4		9%		5%
16:00	6	18		24	18%	41%		31%
17:00	8	8		16	24%	18%		21%
18:00	11	7		18	32%	16%		23%
19:00	7	5		12	21%	11%		15%
20:00	2	2		4	6%	5%		5%
総計	34	44		78	100%	100%		100%

現在利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

	人数				パーセント ※利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 東御市内	30	42		72	88%	95%		92%
2. 他の市町村	4	2		6	12%	5%		8%
総計	34	44		78	100%	100%		100%

他の市町村を利用している理由を選択、またはその他へお書きください。

	人数				パーセント ※他市町村利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 勤務場所に近い	2			2	50%			40%
2. 実家等に近い	1			1	25%			20%
行かせたい幼稚園が他市だった		1		1		100%		20%
母親が働いてる職場での託児のため	1			1	25%			20%
総計	4	1		5	100%	100%		100%

平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。（複数回答可）

	人数				パーセント ※他市町村利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在働いている	30	32		62	88%	73%		79%
1. 子どもの教育や発達のため	17	28		45	50%	64%		58%
3. 子育て（教育を含む）をしている方が働く予定がある／求職中である	1	3		4	3%	7%		5%
4. 母親が産後間もないため	1			1	3%			1%

平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

	人数				パーセント ※0-2歳非利用者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 子どもの母親か父親が働いていないなどの理由で利用する必要がない	12			12	48%			48%
8. 子どもがまだ小さいため、大きくなったら預けようと考えている	11			11	44%			44%
5. 利用したいが、経済的な理由で保育園・幼稚園等を利用できない	5			5	20%			20%
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	4			4	16%			16%
4. 利用したいが、保育園・幼稚園等の空きがない	3			3	12%			12%
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1			1	4%			4%
復職に伴い次年度から保育園入園を申し込んでいる	1			1	4%			4%

「8. 子どもがまだ小さいため…」と回答した方は、何歳になったら預けようと考えていますか。年齢をお書きください。

	人数				パーセント ※0-2歳8選択			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1歳	3			3	27%			27%
1歳半	1			1	9%			9%
3歳	4			4	36%			36%
3歳半	1			1	9%			9%
4歳	1			1	9%			9%

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業等について、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（複数回答可）

	人数				パーセント ※小学生除く回答者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	43	36		79	83%	84%		83%
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	12	13		25	23%	30%		26%
2. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	8	8		16	15%	19%		17%
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	5	4		9	10%	9%		9%
10. 子育て支援センターの一時預かり事業	5	2		7	10%	5%		7%
3. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	4	3		7	8%	7%		7%
11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	3	1		4	6%	2%		4%
12. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	1	3		4	2%	7%		4%
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	1	2		3	2%	5%		3%
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	1	1		2	2%	2%		2%
8. 自治体の認証・認定保育施設（上記1の保育園ではないが、自治体が独自に認証・認定した施設）※東御市内にはありません		1		1		2%		1%
	52	43		95				

教育・保育の事業等を利用したい場所についてうかがいます。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 東御市内	48	42		90	80%	95%		87%
2. 他の市町村	3	1		4	5%	2%		4%
(空白)	9	1		10	15%	2%		10%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

他の市町村を利用したい理由を選択、またはその他へお書きください。

	人数				パーセント ※他市町村希望			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 勤務場所に近い	1			1	33%			25%
兄弟が通園しているため	1			1	33%			25%
通いたいと思う園がない	1			1	33%			25%
幼稚園が他市にある		1		1		100%		25%
総計	3	1		4	100%	100%		100%

幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. はい	13	10		23	22%	23%		22%
2. いいえ	38	33		71	63%	75%		68%
(空白)	9	1		10	15%	2%		10%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

●あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用状況について

あて名のお子さんについて、土曜日に、定期的な教育・保育事業等の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用する必要がある	28	31		59	47%	70%		57%
2. ほぼ毎週利用したい	1	1		2	2%	2%		2%
3. 月に1～2回は利用したい	23	12		35	38%	27%		34%
(空白)	8			8	13%			8%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

土曜日は、何時から利用したいですか。

	人数				パーセント ※小学生除く希望者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
7:00	4	2		6	17%	15%		17%
8:00	12	7		19	52%	54%		53%
9:00	6	4		10	26%	31%		28%
10:00	1			1	4%			3%
総計	23	13		36	100%	100%		100%

土曜日は、何時まで利用したいですか。

	人数				パーセント ※小学生除く希望者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
12:00	1	1		2	4%	8%		6%
15:00	6	2		8	26%	15%		22%
16:00	3	4		7	13%	31%		19%
17:00	6	1		7	26%	8%		19%
18:00	4	4		8	17%	31%		22%
19:00	3	1		4	13%	8%		11%
総計	23	13		36	100%	100%		100%

あて名のお子さんについて、日曜日や祝日に、定期的な教育・保育事業等の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用する必要がある	39	35		74	65%	80%		71%
2. ほぼ毎週利用したい	1			1	2%			1%
3. 月に1～2回は利用したい	12	9		21	20%	20%		20%
(空白)	8			8	13%			8%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

日曜日や祝日の利用希望がある場合、何時から利用したいですか。

	人数				パーセント ※小学生除く希望者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
7:00	1	3		4	8%	33%		18%
8:00	7	4		11	54%	44%		50%
9:00	5	2		7	38%	22%		32%
総計	13	9		22	100%	100%		100%

日曜日や祝日の利用希望がある場合、何時まで利用したいですか。

	人数				パーセント ※小学生除く希望者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
15:00	2	1		3	15%	11%		14%
16:00	2			2	15%			9%
17:00	2	1		3	15%	11%		14%
18:00	5	5		10	38%	56%		45%
19:00	2	2		4	15%	22%		18%
総計	13	9		22	100%	100%		100%

【土曜日や日曜・祝日で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方のみお答えください】

毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由はなんですか。（複数回答可）

	人数				パーセント		※該当者のみ	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 月に数回仕事が入るため	16	14		30	76%	82%		79%
4. 息抜き・リフレッシュのため	9	3		12	43%	18%		32%
2. 平日に出来なかった用事を済ませるため	4	4		8	19%	24%		21%
3. 家族・親族の介護や手伝いが必要なため		1		1		6%		3%

【「幼稚園」を利用されている方のみお答えください】

あて名のお子さんの夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業等の利用を希望しますか。

	人数				パーセント		※該当者のみ	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用する必要はない	1	3		4	25%	27%		27%
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	2	2		4	50%	18%		27%
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	1	6		7	25%	55%		47%
総計	4	11		15	100%	100%		100%

休みの期間中は、何時から利用したいですか。

	人数				パーセント		※該当者のみ	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
7:00	1			1	33%			9%
8:00		3		3		38%		27%
9:00	2	4		6	67%	50%		55%
10:00		1		1		13%		9%
総計	3	8		11	100%	100%		100%

休みの期間中は、何時まで利用したいですか。

	人数				パーセント		※該当者のみ	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
15:00	1	2		3	33%	25%		27%
16:00	1	5		6	33%	63%		55%
18:00		1		1		13%		9%
19:00	1			1	33%			9%
総計	3	8		11	100%	100%		100%

【休みの期間中、「週に数日利用したい」を選んだ方のみお答えください】

毎日ではなく、週に数日利用したい理由はなんですか。（複数回答可）

	人数				パーセント		※該当者のみ	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	1	3		4	100%	50%		57%
1. 週に数回仕事が入るため		3		3		50%		43%
5. 毎日仕事があるため		1		1		17%		14%
回答者数	1	6		7				

●あて名のお子さんの病気の際の対応について

※※WEB調査の設計ミスにより、0-2歳、3-5歳で回収できなかった回答が多かった。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで教育・保育事業等を利用できなかったことはありますか。

	人数				パーセント		※空白除く	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. あった	9	9	40	58	82%	69%	63%	35%
2. なかった	2	4	24	30	18%	31%	38%	18%
(空白)	49	31		80				48%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまるものを選んでください。（複数回答可）

	人数				パーセント		※空白除く	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
い. 就労している母親が仕事を休んで対応した	8	8	28	44	73%	62%	44%	26%
う. 就労している父親が仕事を休んで対応した	6	4	14	24	55%	31%	22%	14%
え. （同居を含む）親族・知人に預けた	2	4	12	18	18%	31%	19%	11%
あ. 就労していない保護者が対応した	1	1	9	11	9%	8%	14%	7%
き. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			5	5			8%	3%

年間日数の平均

い. 就労している母親が仕事を休んで対応した	15.3	14.9	4.8	8.4
う. 就労している父親が仕事を休んで対応した	12.0	5.0	4.0	6.0
え. （同居を含む）親族・知人に預けた	7.5	8.3	3.3	5.1
あ. 就労していない保護者が対応した	20.0	20.0	6.0	9.1
き. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			3.7	3.7

仕事を休んで対応した際、「できれば病児・病後児のための保育施設等（小学生は「子どもの預かり等を行う事業等」）を利用したい」と思われましたか。

	人数				パーセント		※空白除く	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. できれば利用したい	6	5	11	22	67%	56%	30%	40%
2. 利用したいとは思わない	3	4	26	33	33%	44%	70%	60%
(空白)	51	35	27	113				
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

利用したい場合の年間日数の平均

	20.0	8.3	4.8	9.0
--	------	-----	-----	-----

病気やケガで子どもを預けるのに、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（複数回答可）

	人数				パーセント		※利用したい人	
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 小児科に併設した施設で子どもを預かる事業	3	1	13	17	50%	20%	100%	71%
2. 保育所や幼稚園に併設した施設で子どもを預かる事業	6	4	2	12	100%	80%	15%	50%

●あて名のお子さんの不定期に保育園・幼稚園等の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期に働くなどの目的で不定期に利用している事業はありますか。（複数回答可）

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
あ. 保育園などの一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	1	2		3	2%	5%		3%
い. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）		1		1		2%		1%
え. 利用していない	57	41		98	95%	93%		94%

年間日数の平均

あ. 保育園などの一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	12	？
---	----	---

【何も利用していない方のみお答えください】利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

	人数				パーセント ※小学生除く 該当者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 特に利用する必要がない	36	28		64	63%	68%		65%
5. 利用料がかかる・高い	18	6		24	32%	15%		24%
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	10	8		18	18%	20%		18%
6. 利用料がわからない	7	4		11	12%	10%		11%
2. 利用したい事業が地域にない	7	3		10	12%	7%		10%
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	4	6		10	7%	15%		10%
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が	2	2		4	4%	5%		4%
3. 地域の事業の質に不安がある	2			2	4%			2%
9. 市に断られた	1			1	2%			1%
9. 利用希望者が多く利用が難しいと聞くため	1			1	2%			1%

あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期に働くなどの目的で、 不定期の保育園・幼稚園等を利用したいと思いますか。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用したい	31	19		50	56%	44%		51%
2. 利用する必要はない	24	24		48	44%	56%		49%
総計	55	43		98	100%	100%		100%

利用したい場合、利用希望の目的についてお答えください。（複数回答可）

	人数				パーセント ※小学生除く該当者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
あ. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的のため利用したい	23	10		33	74%	53%		66%
い. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院のとき利用したい	19	11		30	61%	58%		60%
う. 不定期に働くため利用したい	7	4		11	23%	21%		22%
え. 就職活動のため利用したい	1	2		3	3%	11%		6%
お. 急な仕事のため	1			1	3%			2%
お. 心を休めるため		1		1		5%		2%
お. 通院		1		1		5%		2%
お. 預け先がない時	1			1	3%			2%

年間日数の平均

あ. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的のため利用したい	10.7	8.3		10.0
い. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院のとき利用したい	6.8	5.0		6.3
う. 不定期に働くため利用したい	45.8	10.0		39.8
え. 就職活動のため利用したい		7.5		7.5

私用、親の通院、不定期に働くなどの目的で、お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（複数回答可）

	人数				パーセント ※小学生除く該当者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）	19	10		29	61%	53%		58%
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター）	23	12		35	74%	63%		70%
	31	19		50				

あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預けるために、短期入所生活援助事業を利用したいと思いますか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用したい	5		3	8	8%		5%	5%
2. 利用する必要はない	53	43	61	157	88%	98%	95%	93%
(空白)	2	1		3	3%	2%		2%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

利用したい場合、利用希望の目的についてお答えください。（複数回答可）

	人数				パーセント ※該当者			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
う. 保護者や家族の病気のとき利用したい	1		3	4	20%		100%	50%
い. 保護者や家族の育児疲れ・不安を感じたとき利用したい	3			3	60%			38%
あ. 冠婚葬祭のとき利用したい う. 保護者や家族の病気のとき利用したい	1			1	20%			13%
え. 遠方に仕事へ行く際			1	1			33%	13%
年間泊数の平均								
う. 保護者や家族の病気のとき利用したい	6.5		5	5.6				
い. 保護者や家族の育児疲れ・不安を感じたとき利用したい	4.5			4.5				

●あて名のお子さんの東御市子育て支援センターの利用状況について（0-2歳児）

あて名のお子さんについて、あなたの家庭では現在、市の「東部子育て支援センター」、「北御牧子育て支援センター」を利用していますか。

	人数				パーセント ※0-2歳のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用している	20			20	34%			34%
2. 利用していない	39			39	66%			66%
総計	59			59	100%			100%

1ヶ月あたりに何回利用していますか。日数をご記入ください。

	人数				パーセント ※0-2歳該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1	4			4	20%			20%
1.5	1			1	5%			5%
2	2			2	10%			10%
2.5	1			1	5%			5%
3	1			1	5%			5%
4	5			5	25%			25%
8	3			3	15%			15%
10	1			1	5%			5%
12	2			2	10%			10%
総計	20			20	100%			100%

「東部子育て支援センター」、「北御牧子育て支援センター」について、今後の利用希望をお聞かせください。

	人数				パーセント ※0-2歳のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 利用していないが、今後利用したい	16			16	27%			27%
2. すでに利用しているが今後利用回数を増やしたい	14			14	23%			23%
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない	27			27	45%			45%
(空白)	3			3	5%			5%
総計	60			60	100%			100%

今後利用したいのは、1ヶ月あたりに何回ぐらいですか。日数をご記入ください。

	人数				パーセント ※0-2歳16名中			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1	1			1	6%			6%
3	1			1	6%			6%
4	9			9	56%			56%
8	5			5	31%			31%
総計	16			16	100%			100%

今後さらに、1ヶ月あたりに何回くらい利用を増やしたいですか。

	人数				パーセント ※0-2歳16名中			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2	1			1	8%			8%
4	1			1	8%			8%
5	4			4	33%			33%
8	4			4	33%			33%
12	1			1	8%			8%
16	1			1	8%			8%
総計	12			12	100%			100%

●あて名のお子さんの放課後の過ごし方の希望等について（3-5歳児、小学生）

あて名のお子さんについて、（3-5歳の場合は「小学校低学年（1～3年生）を想像して」）放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答可）

	人数				パーセント ※0-2歳除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
あ. 自宅		18	38	56		44%	66%	57%
え. 児童館 ※1		31	23	54		76%	40%	55%
お. 放課後児童クラブ ※2		20	16	36		49%	28%	36%
う. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）		9	17	26		22%	29%	26%
く. 外遊びを中心とした子どもの遊び場や遊びのクラブ		11	13	24		27%	22%	24%
い. 祖父母宅や友人・知人宅		8	13	21		20%	22%	21%
き. 地域の居場所（子ども第三の居場所など）		2	9	11		5%	16%	11%
け. その他（公民館、公園など）		3	6	9		7%	10%	9%
か. 放課後等デイサービス ※3			2	2			3%	2%

週当たり日数の平均

あ. 自宅	2.8	3.4	3.2
え. 児童館 ※1	3.7	3.5	3.6
お. 放課後児童クラブ ※2	4.0	3.9	4.0
う. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	1.7	2.1	1.9
く. 外遊びを中心とした子どもの遊び場や遊びのクラブ	2.1	2.2	2.1
い. 祖父母宅や友人・知人宅	1.6	2.5	2.3
き. 地域の居場所（子ども第三の居場所など）	1.0	2.0	1.8
け. その他（公民館、公園など）	3.0	2.7	2.8
か. 放課後等デイサービス ※3		2.0	2.0

平日に「放課後児童クラブ」を利用希望する場合、下校時から何時まで利用したいですか。

	人数				パーセント ※0-2歳除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
16:00		5		5		16%		10%
17:00		9	1	10		29%	6%	20%
18:00		11	8	19		35%	44%	39%
19:00		4	7	11		13%	39%	22%
20:00		2	1	3		6%	6%	6%
22:00			1	1			6%	2%
総計		31	18	49		100%	100%	100%

あて名のお子さんについて、土曜日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

	人数				パーセント ※0-2歳除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい		6	5	11		15%	8%	11%
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい		7	6	13		17%	10%	13%
3. 利用する必要はない		28	49	77		68%	82%	76%
総計		41	60	101		100%	100%	100%

あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

	人数				パーセント ※0-2歳除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい		4	5	9		10%	8%	9%
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい		4	6	10		10%	10%	10%
3. 利用する必要はない		33	50	83		80%	82%	81%
総計		41	61	102		100%	100%	100%

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

	人数				パーセント ※0-2歳除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい		15	12	27		36%	19%	26%
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい		15	15	30		36%	24%	29%
3. 利用する必要はない		12	35	47		29%	56%	45%
総計		42	62	104		100%	100%	100%

●育児休業など職場での仕事と子育ての両立支援制度について（0-2歳児、3-5歳児）

あて名のお子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 働いていなかった	14	22		36	23%	50%		35%
2. 取得した（取得中である）	36	15		51	60%	34%		49%
3. 取得していない	10	7		17	17%	16%		16%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

取得月数の平均

11.3 7.4 10.1

母親は育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	22	15		37	61%	100%		73%
3. 現在も育児休業中である	14			14	39%			27%
総計	36	15		51	100%	100%		100%

母親が育児休業から職場に復帰したのは、どのようなタイミングでしたか。

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	11	8		19	50%	53%		51%
2. それ以外だった	11	7		18	50%	47%		49%
総計	22	15		37	100%	100%		100%

母親が職場に復帰した際のお子さんの年齢の平均

1.0 1.0 1.0

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育・幼稚園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、子どもを預けられる保育・幼稚園等があっても1歳になる前に復帰しますか。（母親が回答）

	人数				パーセント ※0-2歳該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	13			13	93%			93%
2. 1歳になる前に復帰したい	1			1	7%			7%
総計	14			14	100%			100%

母親が育児休業を「3. 取得していない」方は、その理由についてうかがいます。（複数回答可）

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
11. 職場に育児休業の制度がなかった	4	3		7	40%	43%		41%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	2	1		3	20%	14%		18%
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1		2	10%	14%		12%
10. 子育てや家事に専念するため退職した	1	1		2	10%	14%		12%
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1			1	10%			6%
15. 仕事を辞めたから	1			1	10%			6%
15. 夫婦で自営のため特に無いが、産前産後の必要時は適宜休んでいた。		1		1		14%		6%
2. 仕事が忙しかった	1			1	10%			6%
3. 産休後に仕事に早く復帰したかった自営業のため	1			1	10%			6%

母親のお勤め先に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳の時まで取りたいと思われますか。年齢をお書きください。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
0.5	1			1	2%			1%
1.0	5	5		10	8%	11%		10%
1.5	4	2		6	7%	5%		6%
1.8	1			1	2%			1%
2.0	5	6		11	8%	14%		11%
2.5	1	1		2	2%	2%		2%
3.0	32	16		48	53%	36%		46%
3.2		1		1		2%		1%
3.5		1		1		2%		1%
3.7	1			1	2%			1%
4.0	1			1	2%			1%
思わない	1			1	2%			1%
自営業なのでなんとも言えません		1		1		2%		1%
取れるギリギリまで	1			1	2%			1%
年少で入園できるまで	1			1	2%			1%
(空白)	6	11		17	10%	25%		16%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

あて名のお子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。

	人数				パーセント ※小学生除く			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
0. 母子家庭である	1	1		2	2%	2%		2%
1. 働いていなかった	1			1	2%			1%
2. 取得した（取得中である）	6	2		8	10%	5%		8%
3. 取得していない	52	40		92	87%	91%		88%
(空白)		1		1		2%		1%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

父親が 育児休業を「取得した（取得中である）」方は、何ヶ月取得かを数字でご記入ください。

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
0.25	1			1	17%			13%
0.5		1		1		50%		13%
1	4	1		5	67%	50%		63%
5	1			1	17%			13%
総計	6	2		8	100%	100%		100%

父親は育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	6	2		8	100%	100%		100%
総計	6	2		8	100%	100%		100%

父親が育児休業から職場に復帰したのは、どのようなタイミングでしたか。

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった								
2. それ以外だった	6	2		8	100%	100%		100%
総計	6	2		8	100%	100%		100%

父親が育児休業から職場に復帰した際のお子さんの年齢をお書きください。

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
0.08	3	1		4	0.5	1		0.57143
0.25	2			2	0.33333			0.28571
0.58	1			1	0.16667			0.14286
総計	6	1		7	1	1		1

父親が育児休業を「3. 取得していない」方は、その理由についてうかがいます。（複数回答可）

	人数				パーセント ※小学生除く該当者のみ			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
2. 仕事が忙しかった	20	20		40	38%	50%		43%
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	23	13		36	44%	33%		39%
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	17	17		34	33%	43%		37%
11. 職場に育児休業の制度がなかった	10	6		16	19%	15%		17%
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度	5	10		15	10%	25%		16%
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	7	4		11	13%	10%		12%
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	2	3		5	4%	8%		5%
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	3	2		5	6%	5%		5%
15. 自営業	2	2		4	4%	5%		4%
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	1	2		3	2%	5%		3%
7. 保育園等に預けることができた	1			1	2%			1%
15. コロナ禍でたまたま週3休みだった	1			1	2%			1%
15. そんな発想自体なかった。		1		1		3%		1%
15. 育児に協力的ではなかった。	1			1	2%			1%
15. 海外駐在中だった	1			1	2%			1%
15. 必要と感じなかった		1		1		3%		1%

父親のお勤め先に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳の時まで取りたいと思われますか。年齢をお書きください。

個数 / タイムスタンプ 行ラベル	列ラベル				列ラベル			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
0.0		1		1		2%		1%
0.1	3	2		5	5%	5%		5%
0.2	1	1		2	2%	2%		2%
0.3	6	3		9	10%	7%		9%
0.5	1	2		3	2%	5%		3%
1.0	19	13		32	32%	30%		31%
1.5	2	1		3	3%	2%		3%
2.0	2	1		3	3%	2%		3%
3.0	12	5		17	20%	11%		16%
3.5	1			1	2%			1%
わからない		1		1		2%		1%
思わない	1			1	2%			1%
自営業なのでなんとも言えません	1	1		2	2%	2%		2%
(空白)	11	13		24	18%	30%		23%
総計	60	44		104	100%	100%		100%

●子育て全般について

東御市における子育ての環境や支援についておうかがいします。次のうち、当てはまる数字を選んでください。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1満足度が低い	1	1	5	7	2%	2%	8%	4%
2	15	11	7	33	25%	25%	11%	20%
3	26	14	30	70	43%	32%	47%	42%
4	17	11	15	43	28%	25%	23%	26%
5満足度が高い	1	7	7	15	2%	16%	11%	9%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

子育てについてどのように感じていますか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 楽しいと感じることの方が多い	41	25	35	101	68%	57%	55%	60%
2. 楽しいと感じたり、つらいと感じたりすることが同じくらい	17	17	27	61	28%	39%	42%	36%
3. つらいと感じることの方が多い	1		1	2	2%		2%	1%
4. わからない	1	2		3	2%	5%		2%
基本的に楽しいが苦しい時もたまにある。			1	1			2%	1%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

東御市は子育てがしやすいまちだと思いますか。

	人数				パーセント			
	0-2歳	3-5歳	小学生	総計	0-2歳	3-5歳	小学生	総計
1. 子育てがしやすい	10	15	14	39	17%	34%	22%	23%
2. ふつう	34	19	37	90	57%	43%	58%	54%
3. 子育てがしやすくない	6	4	9	19	10%		14%	11%
4. わからない	10	6	4	20	17%	14%		12%
総計	60	44	64	168	100%	100%	100%	100%

【0-2歳児】東御市子育て支援センターを利用していない理由を記入してください。
1歳より保育園へ入所したため。
アットホーム感がなくて、悲しいから。私は大人と話したくて行くのに、ただの"遊び場の提供"と言う感じ。知り合いもないから、行ってもただ場違い感があり、数えるほどしか行っていない。丸子に住んでるときに通っていた、丸子の支援センターが恋しい。
まだ小さいため
以前利用した事があるが、前から利用して居る仲間がグループが出来ているので使いづらい。環境も悪すぎるので利用したいと思えない。
園に通園している為、利用ができないと断られた
何となく利用時間を調べるのが面倒に感じてしまっているのと、私自身がいろんな場所へ出掛けた方が気分転換になって好きなので利用してません。
家のほうが楽だから
行く機会がないから
行く時間が作れないため
小規模保育所に通園しているため
存在を知らなかった
託児も保育園扱いで利用出来ないため
知ってる人がいないから
仲の良いグループが出来ており利用しづらい雰囲気がある。
特にない
特に必要としてないから
日中保育園に預けているため、利用出来ない。
必要ない
風邪など移りたくないため
平日は保育園にいき、土曜日は兄もいるのでなかなか行くという選択肢にならない
平日保育園に行っていて 土日もお出かけしているから
保育園に行っているため
保育園に通っているため
保育園に通っていると利用できないため。できるなら、夫が週末はいつも仕事なので、自分と子供で遊ぶ先として利用したい。
保育園に入っているため。入園していると利用できないんですよね？
保育園へ行っているのですが、利用していいのかわからない
保育園を利用していることと、小学生の兄弟もいるので利用対象外かなと思うので。
保育園利用のため
幼稚園に通っているから
幼稚園に通っているため
利用したいですが、保育園に通っているため利用できません。
利用する必要があるから
利用の仕方が分からない

【自由記述1】 子育てに関する環境や悩みなどについて(「気軽な相談先(2. いない/ない)」、「配偶関係(2. いない)」、「回答者(1. 母)」、「年代(0-2歳)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	気軽な相談先	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	気軽に相談出来る場所
0-2歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	未満児を預けられるような施設の充実化が必要。加配が可能になるように、保育士の確保、賃金を引き上げる。各保育園に看護師を配置する。 産後ヘルパーを気軽に使用できるようにする。 保育係の対応や質の向上。 地域のちょっとしたおせっかいサークルみたいなものをつくる。民生児童委員の訪問、東御市の民生児童委員の活動がみえない。 市の保健師の質の向上。忙しいのはわかるが、子供の検診での相談に対する対応が不満。
0-2歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	幼稚園や保育園が休みの日に、気軽に預けられるところが欲しい。 病児保育も、もっと手続きが簡単で気軽に預けられると、使いやすい。
0-2歳	2. 父	1. いる	2. いない/ない	何ヶ月毎に訪問があると相談しやすい
0-2歳	2. 父	1. いる	2. いない/ない	支援センターが保育園に通っていない未就学児に限定されており、どこにも相談出来ず移住してきた身としては非常に子育てに関して肩身が狭い。市に相談しても解決には至らない。祖父母や親戚がいない親たちのサポート体制も充実させてほしい。体制に対しては近隣の市より遅れを感じる。
3-5歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	1、子供の医療費を無料にして欲しい（無料の地域があるので、不公平に感じる） 2、子供の人数や親の収入に関係なく子供への手当てを増やして欲しい。 3、保育園以外で休日に気軽に利用できる子育て応援施設や制度があるといざと言うときに助かる。
3-5歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	金銭的支援。様々なサポートシステムがあってもお金がないと結局受けられない。だからそもそも子供を産まなくなると思う。
3-5歳	1. 母	1. いる	2. いない/ない	病児保育、仕事で帰宅が遅れる際の子供の送迎
3-5歳	1. 母	2. いない	1. いる/ある	子育てに行き詰まった時の悩み相談や、同じ境遇の方達との話し合いの場を設けて頂きたいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	①子育て支援金を増やしてほしい。とにかく子育てにはお金がかかるので、お金がほしい。 ②保育園の育休退園をやめてもらいたい。育児休暇中も上の子どもを保育園に預けられる体制を整えてほしい。→二人目を産んだときに、母親が育児休暇を取っているからと言って保育園を退園させられた。これが母親にとってかなりの負担で、下の子の育児休暇なのに上の子どもに時間を取られた。産後で身体はボロボロなのに、休んでる暇が無かった。こんなことしてるともっと少子化になると思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	こちらからアポイントメントを取る様な場場所へ行って話を聞いてもらうのではなく、定期的に最近の様子などを聞いてくれる場所や人がいるといいと思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	ワクチンの接種券は一括で受け取るが、接種時期になったら送ってほしい。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	以前行政に相談した際に辛くて電話したのに話を聞いてもらえるのは先の日付になってしまい、辛いその瞬間に助けてもらえるところはないんだなと実感した上に相談日にも結局母親が悪いというようなことを言われたことがあるので家族知人以外に相談しようと思わなくなった。辛い時にすぐ来てくれる、すぐ話を聞いてくれる場所や機関があったらすごく助かると思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	一時預かり制度の充実
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	気楽に子供を預けられる施設があればいい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	気軽に寄って話せる場所。カフェのような。支援センターみたいな所は改まって行きづらい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	気兼ねなく預けられる環境
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	緊急的に子育てができなくなった際（どこかを痛めてしまったなど）、短期間でいいので預けたり訪問してくれるサービスが欲しい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	金銭面
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	子供を預かってくれる 育児について学べる機会の提供 お金の補助
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	自分にもmeタイムが、ほしい時 気軽に子どもを預けられる無料サポート施設。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	手当てが欲しいです
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	体操教室とか習い事が出来る場所が増えると嬉しい
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	短時間でも子どもを預かってもらえる場所がある事。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	土日、室内で遊べる場があるといいです。東御市の子育て広場は、保育園に通っている家庭は利用できません。上田市のにじいろ広場は土日、誰でも利用可能なため、そちらまで行っています。東御市にもそういう場所があるといいです。

【自由記述1】 子育てに関する環境や悩みなどについて(「気軽な相談先(2. いない/ない)」、「配偶関係(2. いない)」、「回答者(1. 母)」、「年代(0-2歳)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	気軽な相談先	子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	認定外保育園に通わせてますが、土曜日保育を希望すると、代休とらされたり、病欠とは別にとらないといけなかったり、年長の長男は土曜日保育園の体制として受け入れてもらえなかったり、があり、どうしても祖父母にお願いしてしまうしかない環境があります。もう少し、働く親が負担なく、預けられる環境があればいいなとおもいます。(これは六歳長男、三歳次女の事)2歳の子に関しては、特になし。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	保育園にもっと入りやすくしてほしい。周りの友人も、居住地域で預けられず、夫婦の負担が大きく困っている。 また、リサイクルの服を無料で貰える場所をつくるなど、補助がほしい。お給料が多少あがったと思うと保育料も上がり、経済的余裕が生まれない。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	未満児で預ける家庭が多く感じる。子供は欲しいけど働かないといけない環境が多いので金銭面をもっと分厚くしてほしい。
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	預け先がどーしてもない場合に 安く預かってもらえる所
0-2歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	両親の体調不良時等緊急の際は休日であっても預かってくれる場所が欲しい。
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ある	金銭支援
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ある	金銭的なサポートが足りない。
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ある	保育園、学童の余裕
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ある	保育園の未満児無償化、 2人目がいる家庭は片親が働いてなくても保育園に預けられるようにしてほしい
0-2歳	2. 父	1. いる	1. いる/ある	未満児保育で、子供を保育園に預けていました。保育料がどうしても高く負担だったため、未満児保育の保育料も無料になると大変嬉しいと思いました。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	こどもと関わる時間を増やすために家事代行などのサービスを気軽に使える案内やシステムがあるといい。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	医療費無償化等
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	気軽に相談、依頼できる体制
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	近くに家族、親戚がいること
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	仕事をしているので、子供が体調不良になった時に仕事を休みやすい環境づくり
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	仕事をしてるので急な熱対応など体調不良の時代わりにお迎えや、病院に連れて行ってくれる支援があるといい
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	子供の人数だけ有給の日数を増やして欲しい
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	心が追い詰められた時にクールダウン出来るような場所の提供
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	双子だったので買い物をしてくれる人がいたら良かった
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	体調不良時に預かってもらう 子育て世代への補助金
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	同じ生まれ月の人との交流。入園前の2歳〜3歳頃や、年長といった節目に、近況報告や悩みなど相談できる場があれば面白いと思う。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	配偶者や祖父母がいる母親でも、気軽に乳児・幼児を見てくれたり、預かったりしてくれる場所、サービスがあると助かると思います。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	発達や健康状態をもっと気軽に相談できる人がいることは、とても大切。ご時世で、病院に行きづらくなっている。
3-5歳	1. 母	1. いる	1. いる/ある	頼れる実家が遠いので、用事がある時の子どもの預け先に困る。保育園の一時保育以外にも、気軽に預けられる場所があると嬉しいです。
3-5歳	2. 父	1. いる	1. いる/ある	LINEのチャットによる相談窓口

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
3-5歳	1. 母	1. いる	1	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	満足できる事はない。	季節性の予防接種(インフル、コロナなど)の金額について、補助がほしい。(私の生まれた地域では、子供は1000円で受けられた) 給食費をなくしてほしい。 子育て支援金がほしい。 低所得や片親だけに支援金ではなく、平等にしてほしい。 クーポン券などではなく、現金にしてほしい。
小学生	1. 母	2. いない	1	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	ひとり親への支援や給食費の有償、就学支援金の使い方等、こども医療費が無料じゃないこと等、疑問に思うことが多い。給食での牛乳配布も。こどもファーストじゃない。他の市町村よりだいぶ遅れているとかんじる。子育てにお金を使う気のない市なんだと思う。 子育てにお金を使う気がない市は未来が薄い。人口過疎を目指してるのか？	
小学生	1. 母	1. いる	1	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	支援してもらった記憶もなく、どのような環境があるのかもはっきりとわからない。	
小学生	1. 母	1. いる	1	3. 子育てしやすくない	1. 楽しい…が多い	他県などは医療費完全無料じゃない。 給食費が高い 未満の保育代が高すぎて働く意味がない	
0-2歳	2. 父	1. いる	1	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	他の市町村は特別支援金など多く東御市はほとんどない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	1. 楽しい…が多い	なんとか生活はできているが経済的不安が大きい 他市町村は出産祝金としてまとまった補助制度がある。 そういったものも東御市も検討してほしい	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	1. 楽しい…が多い	親が働いてないと保育園に入れない (年少さん〜でも) 子供の遊ぶ場所がない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	保育園の育休退園は子育て環境が優れていると言っている割には良くないと思います。誰のための育休休暇なのか、産まれた子どもを見るための休みなのに、上の子どもを見るための期間ではないと思います。保育士がいらっしゃらないのか、子どもを見てくれる場所が少ないのか、私は他の地域の知人に驚かれました。今のご時世子どもが少ないと言われている割には子育て環境が整ってないと言えます。 子育て支援センターがあるのはとても良いですが、コロナで利用時間が限られ、子どもも運動不足で家に帰ってもはしゃぎ、親が疲れる始末でした。	所得制限に関係なく子育て支援金がほしいです。母子家庭とか住民税非課税世帯等だけに支援金が振込まれるのは不公平ではないでしょうか。毎日子どもを保育園に預けて、仕事して、税金納めている家庭にも支援金をお願いします。
0-2歳	2. 父	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	五万貰っただけで、他に何も無いから	
0-2歳	2. 父	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	1. 楽しい…が多い	前述の通り、市として何もしてくれないし、対応はしてくれない。	問題点にばかり指摘され、幾度となく発達に対して問題点を言われる。上の子も同様であった。

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	1. 楽しい…が多い	子育て世帯に金銭的支援が少ない、もっと踏み込んだ対応をして欲しい。保育園への入園の相談に行った時、保育課の職員の態度が悪すぎて、何を言っても無駄なんだろうなと思った、諦めた。東御助産所のスタッフの方々はとても優しくて産後大変だった時にとても有り難かったです。	田中小の児童館が古すぎて可哀想。小学生の放課後の居場所の選択肢が少なすぎる。この時代に鍵っ子は本当は良くないと思いつつ、仕方なくそうしている。時代が変わっている中で、ろくに育児に参加してこなかったであろう世代が考える子育て世代へのサポートや支援に正直期待はしていない。このアンケートもそうだが、本当に支援していくつもりはありますか？あるのならば、早急に形に表して頂きたい。こどもは待ったなしで育っていきます。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	子供に優しいお店がないため	子供の洋服だったり雑貨類のお店、ファミレスや屋内で遊ばせる事の出来る施設が市内にはないので、親子で楽しめると言う意味での子育てはしにくい環境です。病院も市民病院に集中していて混んでいる。習い事も市内で見つけるとなると選択肢が狭い。東御での子育てはメリットがあまり感じないです…。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	出身地域ではないので、地元や首都圏の子育て環境と比較してしまうと不十分に感じる。	
小学生	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	使いにくい	週に1日だけ放課後預かってほしいとかだと児童館を利用してくれと言われたが児童館は6時までしか預かってもらえず、結局1年生から鍵っ子になって留守番させざるをえなかった ベビーシッターなどは料金が高くて無理だった
小学生	1. 母	1. いる	2	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	児童館の対応があまり良くない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	4. わからない	1. 楽しい…が多い	いいと感じる出来事がない	室内遊び場を増やしてほしい 保育料が高い
0-2歳	1. 母	1. いる	2	4. わからない	2. 苦楽同じくらい	市立の保育園の保育士は大変良くしてくれる。私立の保育園の保育士で一部対応に不満があった。 加配ができなく不満。市立は、看護師が祢津にしかいなく不満。 子育て支援がどのようなものがあるか知らない。不明。 ハード面の環境はよいと思う。	保育士の確保と賃金の引き上げ。 看護師の配置。 病気や障害の対応ができるように保育園が変わってほしい。 保健師の質の向上。 教育面では、いじめや不登校の対策対応。 ほどよく田舎で、気候も良く、高地トレーニング施設、海野宿など誇れるものがたくさんあるので、東御市で子育てして生活してとても良いと思えるように行政も頑張ってください。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	4. わからない	2. 苦楽同じくらい	育休中に未満児は退園させられたから。	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	宛名の子は第二子ですが第一子が市内幼稚園に通っており、そこでの環境や教師園長の対応など不満点があり相談したところ、結局何もできないとの回答。他にも何人か相談しているそうですがみんな何もできないから我慢してくれと断られているとのこと。通わせている子供達に不利益があるから相談しているのに対応してくれないのはかなり不満。制度的に難しいとしてもこれだけ声があがってるのであれば県なり何なりに相談して欲しいと強く思います。市内1ヶ所しか幼稚園がなく他に選択肢もない中で保育環境に不安や不満がある時に相談もできない、異動することも市内では他に幼稚園ないので不可能、結局我慢して通わせるしかないのは安心して預けることができない＝子育てに優しくないと感じます。	

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	環境は良いと思うが、子育て支援は何をされているのか(何に力を入れているのか)よく分からない	
0-2歳	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	乳幼児検診をする際の、職員の方の中でマニュアル通りのやり方で冷たい感じの人がいる。子供には普通よりも遅くても大きくなれば人並みになる人が多いと思う。何でも病名を付けるのはどうなのかな？と思う。検診の職員の方は確かに知識はあるかもしれないけど、知識があるなりの対応をしてほしい。	子供が欲しくても金銭面で諦める場合もあると思うので、東御市なりのサポートがあれば良いとおもう。
0-2歳	2. 父	1. いる	2	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	児童手当が少ない	
0-2歳	2. 父	1. いる	2	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	利用方法が分かりづらい。 雰囲気あまり良く無い。	
3-5歳	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	あまり何かをしてもらっている感じがしない。自分から何かを訴えないと教えてくれない。	病児病後の使い勝手がすごく悪い。いざ使おうとすると看護師がいなくて使えない。 妊産婦の援助も近隣市町村に比べて低い。 近隣市町村は3人目以降出産でお祝い金が出たりするが東御市はない。
3-5歳	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	現在、幼稚園に通わせてるが長期休暇中のみ預かってもらえる園が市内にはない。	
3-5歳	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	子どもの習い事などの支援がない。共働き世帯が多いのに、地区の行事や保育園保護者会の負担がとても多い。	
小学生	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	お金の補助金が少ない。医療費、学費	
小学生	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	児童クラブに入れず、児童館を利用しているが、親の仕事が遅くなるときは児童館のお迎え時刻に間に合わないので留守番させている。長期休みも、児童館の開館時間が遅いので、子どもが道沿いの公園で時間を潰してから行っている。防犯の面でも、心の面でも、色々な面で不安。子育てに健全な環境とはいえない難い。	学校の予算が年々削減されていると聞きました。果たして、人を育てることにお金をかけられない自治体に未来はあるのでしょうか？子どもの教育にお金をかけられる家庭の子は都会へ出ていき、そうでない子だけが地元に残る…という格差を埋めるために、学校教育には期待しています。是非、地域全体で子どもの育ちを応援する東御市であってほしいと願います。
小学生	1. 母	1. いる	2	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	障害児に対する支援が薄い	
3-5歳	1. 母	1. いる	2	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	年度途中の入園希望を出す予定であることを相談すると、育休延長を打診されたこと。 延長はキャリア的に希望していなかったため、自分で年度途中で入れる保育所を予約しなければならなかった。 人員のこともあり、難しいのもわかりますが、年度途中の入園の受付も4月入園希望者と同じように受付ける柔軟さがあればいいなあと思います。	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	休みの日などに、気軽に預けられるところがほしい。ベビーシッターの助成金なども助かる。 病児保育も、システムをもっと簡単にして、すぐ預けられる仕組みにしてほしい。 あと、もっと気軽に子育てについて相談出来るところがほしい。 今既にあるとするなら、もっと周知してほしい。	第三子の保育料無料は有り難い。でも、小学校に上がると地味に給食費の負担が大きい。給食費を無料にしてほしい。少子化と騒がれる昨今ですが、産ませたら終わり、と思うほどに子どもに対する制度が少ない。産んでも、手当てを出してくれるだとか、将来を担う子供達の支援を、もっとしてほしい。
小学生	1. 母	2. いない	3	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	可も不可もないから	祢津は子供が少ないせいか、習い事をするのも大変ですし、とても閉鎖的です。実家がこっちだったので戻ってきましたが後悔してます
0-2歳	2. 父	1. いる	3	4. わからない	1. 楽しい…が多い	是非も無し	

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
3-5歳	1. 母	1. いる	3	4. わからない	1. 楽しい…が多い	小児科が1つしかないので、いざという時に不安があります。 以前の市町村は医療費が無償だったのですが、500円とはいえ各医療機関や薬局ごとに医療費がかかることが地味に痛手です。 市のラインに登録していますが、年配の方向けのイベントや講習に比べて幼児向けのものはあまりないような気がします。 生活している中で、子育てでとても困る！ということはありませんが、一方で「子育てにとても力を入れています！」ということもないかなと思います。	保育園には比較的入りやすいと聞きました。 一方で、育休になると子供が退園になると聞いて、子供がせっかくなれたコミュニティを出されてしまうのは親にも子にも負担かなとも思います。
小学生	1. 母	2. いない	3	4. わからない	1. 楽しい…が多い	他の市町村の状況や環境がわからないので、良いのか悪いのかがわからない。	
小学生	1. 母	1. いる	3	4. わからない	2. 苦楽同じくらい	未就学時は支援に満足だが、小学校に入学してからはあまり支援が感じられないため。児童クラブに入れるか毎年不安になる。	学校の先生の負担を減らしてあげて欲しい。教師が減らない様にして欲しい。
小学生	1. 母	1. いる	3	4. わからない	1. 楽しい…が多い		質問の主旨とは違うかもしれませんが、保育園の自由保育をやめてほしいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	おむつ、ミルク代の補助などがあるといい	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	まあまあ	子ども手当が増えたら嬉しい
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	もっと手当があってもいいと思う	未満児も保育料無料にしてほしい、それかもっと安くしてほしい
0-2歳	1. 母	2. いない	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	雨の日や暑い日に屋内で遊べる施設があると良いなと思い、この数字にしました。	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	可もなく不可もなくといったイメージ	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	公園や市民病院の小児科が良いことは満足。就園児は、週末に公園以外に行ける施設やセンターがないのは改善希望。また、車が多いのに歩道が未整備の道が多く、住んでいる地域で散歩が怖い。	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	子供にかかる医療費負担や経済負担をもう少し軽減してもらいたいため	伊那市では子供の医療費が無料だったり、出生時に3万円分のオムツ券・ゴミ袋の配布をしているなど経済的な負担が軽減される制度がある。こういった制度を取り入れてみてはどうか。子育て世帯には大変ありがたい制度となると思う。
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	3. つらい…が多い	特に不自由を感じてはいないが、手厚いとも思わないので。	まもなく産休育休に入りますが、在園中の子どもは産育休中も継続して預けることが出来るようになったと伺い、とても助かりました。 今の子育てはどうしても閉鎖的になってしまうような気がして、だからこそ周りの助けが必要で、これまで色んな土地に住みましたが、様々な制度や施設、人に助けてもらってここまでやってこられました。 どんな制度があるかなかなか分かりにくいし、調べてもよく分からない…と言うことが多いので、分かりやすく発信していただけたら嬉しいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	保育園の方針がいろいろ変わる事に違和感を感じる	保育士確保の為にパート採用など臨機応変な対応をして欲しい。
0-2歳	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	2人目がいるのに保育園に入れられない。	

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
0-2歳	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	特別困ってないが、特別支援充実している感じもない	アメリカの二重国籍の子のため、土曜は英語目的で10時から15時までインターナショナルスクールを利用。軽井沢まで行くのが大変。 保育園は公立を希望したが2人同時に入れる園がなく、私立になった。転入時保育園活動が十分に情報集められなかった。
0-2歳	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	未満児の保育料が高い 支援センターの利用制限がある事	建物や道を作る前に出産費用や教育の無償化と言った自然と人が増える税金の運用を切に願います。
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	上の子が保育園に在園していないと2人目は保育料が半分にならないのはとても不満でした。	
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	上の子は現在放課後デイサービスを利用しているが、そこに行き着くまでにとっても苦労した。 発達障害を持つ子の支援が満足ではなかった。 (担任の先生は相談に乗ってもらって色々支援してくれたが、担任の先生だけでは限界がある。) そういった障害がある子に対しての支援の情報を得にくい。	
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	入園前までは支援センターなどでよくお世話になっていたがそれ以降は保育園なので特別これというものがない。保育園はとても満足。	スポーツ支援事業みたいにスポーツ以外でも試しに習えるものを多くして欲しい。
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	保育園等の施設は充実しているため満足しています。 東御市は外で遊べる公園が少なく、残念です。	子どもが3人いると毎月の医療費の負担を感じます。インフルエンザの予防接種も補助金等で対策していただけると嬉しいです。
3-5歳	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい		市内の保育園に通っています。自主性を尊重しているようですが、自由すぎると思います。朝の会、帰りの会、昼食時揃っての挨拶等、時間の区切りもなく本人の意思に任せて自由に過ごしているようなので、社会生活を送るための最低限の基準はまだ大人が教えてあげる年齢ではと思う。 協調性にかけているように思います。 せめて挨拶は揃ってして欲しい。
3-5歳	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	無料で使える施設がある。	子育て世帯の金銭的な負担が大きくならないような仕組みの拡充
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	インフルエンザワクチンなど、予防接種の無料化を希望したい。 放課後、学校で体を動かしてもらえる元気塾などを希望します。	流行の防止策として、親子の予防接種の無料化を希望します。
小学生	1. 母	2. いない	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	学年が大きく、乳児幼児がどのように東御市から優遇されているのかわからない為	駅や行きたい場所へのデマンドバスの普及、子供だけでも乗れるようにしてほしい
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	児童クラブを利用していてその環境に感謝しています。医療費の補助も大変助かっています。その一方冬や天気の良い日に遊べる施設があるといいなと思います。長期休暇の時に児童クラブを利用する際、有料でもいいので昼ご飯を提供してもらえる手段があると助かります。そういう地域があるとニュースで聞いたことがあるので。	コロナやインフルエンザで長期休まないといけなくなった時、せっかくiPadが生徒一人一人に普及しているのに、授業を視聴できるなどの対応がなかったのが残念です。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	小児科が少ない 北御牧地区なので、バス通学か送迎になり、大変 夏休みに科学教室などがあり、それはとても楽しかったと話していた	各学校で夏休みに科学教室の様な催しがあり、それは今後も続けて欲しい
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	上を見るときりがないと思うので	コロナが5類に落ちたら、一気にPTAや学校行事が元通りになるのはなぜでしょう？ 負担が大きすぎるものもあるし、不必要（行事の来賓祝辞など）なものも多いです。見直しできませんか？ あと、父の育休中、子供より手のかかる父が多いです。父親教育もしてほしいと思っています。

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	特に困っていることもなく、特別良くも悪くもないので、真ん中を選びました。	
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	費用に満足できない	子供の精神面での不安がある時に、その子の年齢に応じた相談できる機関がほしい。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	普通かなと思うので。	
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	普通だと思うから	中学のそばに自由に学習できるスペースがほしい。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	3. つらい…が多い	保育園までは手厚いが、入学すると、親子とも野に放たれるかんじ。 親も祖父母も年を取っていつていろいろあっても、相談する暇も場所もない。	子育ては、年長までで、あとは、児童を生かしておけば良いだけなのか??と、感じる。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い		教師一年目の先生をすぐに担任にするのは、新人教師にも児童にも負担が大きすぎると感じます。一年目は副担任から始めるなどしてあげた方がいいと思います。 副担任から始め、先輩教師の指導方法や生徒との接し方、学校の方針・行事など学ぶ期間を設けてあげて欲しいです。最初から実践でやるのは気の毒な気がします。 余裕のない教師の姿を見て、児童（子供）も不安になります。
小学生	1. 母	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い		保育園では外などでのびのびと活動してきましたが、小学校へ入学した途端、机上での学習が増え、運動量がガクンと落ちます。子供たちにとってはかなりのストレスだと感じます。学習指導要項に則っての学習だと思いますが、それに窮屈さを感じる子はたくさんいると思います。マニュアルに沿っての世の中ですが、それではマニュアル通りにしか動けない大人になることを懸念しています。公的の教育機関では指導できないこと、フォローできないことをフリースクールや地域の遊び場などで支援していく必要性を感じています。フリースクールの誘致や整備などもしていただきたいです。
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	子供向けの講座(里山、陶芸教室、料理教室など)がいろいろあり充実していて良いが、一方で経済的支援が弱いので考えていただきたい。	
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	支援の程度がわかり	
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	不満はないが、特に特別な支援等の実感はない為。	
小学生	2. 父	1. いる	3	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	良くも悪くもないため	
0-2歳	1. 母	1. いる	3	1. 子育てしやすい	2. 苦楽同じくらい		最初から保育園に在籍している子どもは、その後母親が次の子の出産で育児休暇中になった場合にそのまま園に在籍できるのは不公平だと思う。
小学生	2. 父	1. いる	3	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い		塾に行く経済力がない家庭のために、子ども達が気楽に教員以外に勉強を教えてもらえる場所があると良い。
小学生	1. 母	1. いる	4	3. 子育てしやすくない	2. 苦楽同じくらい	どこが足りないかわからないですが、ほぼ満足できる	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	4. わからない	1. 楽しい…が多い	子育て支援センターのみ利用しているが、職員の方々も優しく、気軽に行けるので良いと思う。	オムツの支援が欲しいです。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	4. わからない	1. 楽しい…が多い	補助金が出たり母乳券による補助があったりしたから。 子育て支援センターをよく利用するから 無料の身体測定、相談ができる	公立保育園の未満児の枠を増やしてほしい。 離乳食教室をもっと開催してほしい。 定期健診をもっと開催してほしい。

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
3-5歳	1. 母	1. いる	4	4. わからない	1. 楽しい…が多い	子育て支援センターでのイベントが充実していると感じるため。	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	割と支援がある	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	検診に行けば相談できる	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	住みやすいので	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	保育園がキレイ	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	保健センターや子育て支援センターにて様々な相談や情報を得ることができていると思う。	未満児は希望している保育園に入りづらいとの話を聞いており、現在申込中であるが少し心配している。また、今後第2子を考えるにあたって、すでに子ども(未満児)を保育園に預けている間に次の子どもの育児休暇に入ると退園しなければならないというのも新聞で知り東御市での対応についても不安がある。働き続けたい親にとって第2子を考えることを躊躇することのない対応を望んでいる。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	預ける施設が気軽に利用出来ない等	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	市民病院が土日や夜間もやってればさらに良い	子どもの通ってる園に嫌な先生がいる（和保育園）失礼なこと言ったのに謝罪はないし2度と関わりたくない
3-5歳	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	未満児で無ければ希望する保育園に入れる	
小学生	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	子育ての環境が良いと思う	子育てに関する情報をどこでたくさん知ることができるのか知りたい。いろんなことを経験したお母さんたちの声も聞くことができる機会があるといいなと思う。
小学生	1. 母	1. いる	4	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい		小学校の先生にもっと発達障害について理解したり、知ってもらって対応してほしい。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	もう少し子育てするお母さんの味方になれる場所がほしい。	我が家は3人の子どもがおります。物価高騰など　やはり金銭的にきつい時もあります。　子どもたちがやりたいこと、をもっと応援できるように　低価格な習い事がたくさんあったら嬉しい。　また、雨の日に遊べるような大型遊具施設などかあったり　自分のためのmeタイムも取れるよう　無料預かりサポート施設などであるとありがたい。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	2. 苦楽同じくらい	公園は広いのでいいと思います。 健診でも親身になって頂けるのでこちらも相談しやすい。 ただ雨や雪の場合に遊べるところがない。	い
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	2. 苦楽同じくらい	今年東御市に引越して来たばかりでまだ環境や支援について知らないことも多いため	
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	子育て広場が利用できないから。室内の遊び場がないから。	改善されているのかもしれませんが、下の子妊娠中産前産後、計半年しか保育園で預かってもらえず(その後は限定的な一時保育をお願いしましたが)日中、2人の子育てをするのはとても大変でした。 少子化対策等叫ばれますが「2歳差の子どもを望んだのは、お宅の勝手ですよね」と言われている気持ちになりました。 希望する人のニーズに合わせた保育園というか、子どもを預かってもらえる制度にしてほしいです。全国一律でなく。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	支援センターに通うにあたって、おもちゃが充実していたり、無料で親子体操などできるのは楽しい。	無料でできる親子体操などは続けて欲しいです。 もしくはもっと小さい子どもがいるお母さんが利用できるワークショップなどあったら嬉しい。

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
0-2歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	乳幼児検診の保健師さんや保育園の先生方の対応が良い	
0-2歳	2. 父	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	特に不自由な事がない為	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	2. 苦楽同じくらい	ほぼ不便に思っていない。 強いて言えば、市民病院の小児科はいつも混んでいるため、先生の負担が大きいのではと心配になります。	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	2. 苦楽同じくらい	概ね満足	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	公園が沢山ある 支援センターがある	保育園や学校でできる体操教室などがあれば嬉しい
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	困ることなく、仕事と家庭の両立ができています。	今年度、田中の児童クラブに入れないお子さんがいたので、仕事と家庭の両立ができるように、受け入れの枠を増やしてほしい。児童館含め、施設を増築してほしい。
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	子育てで困った事があった時に、すぐに対応してくれた	
3-5歳	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	長期休暇中の児童館の開館時間が遅い。ファミリーサポーター制度が充実していない。	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	これからの時代に向けて自立、自発的に考えて行動できる子に育つような取り組みを始めていただいているように感じる	子供は菌、ウイルスなどにまみれ、それらを味方にし強い体を作っていくものだと考えています。過度な対策等は心身ともに子供の成長の妨げになってしまうと思うので元気であればマスクなども早急に外すようにアナウンスして欲しい。今まで学校での指導でマスクをさせていたので今度は外す指導をしっかりしてほしい。個人に任せていては外せない子はずっと外せないままになっている。 東御市の保育園で数年前から子供自身が考え、行動するという保育指針にとっても期待しています。先生や目上の人 の指示を待ち、素直に聞くという人間では通用しない時代になっていくと思うので日本の良い伝統を守りつつ海外の教育のいいところを積極的にとりいれていってほしいです。
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	パートで働いているので、児童館の利用時間がちょうど良い。ただ、田中児童館が高学年が利用できないので、兄弟で長期休暇時に預けることができなかったりすると困ることがある。	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	2. 苦楽同じくらい	子育てしやすいと感じているから	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	色々なイベントがあったり子育てしやすいようにというものが多い	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	4. 他…たまに苦しい	悩んだ時などすぐ対応してくれる	
小学生	1. 母	1. いる	4	1. 子育てしやすい	2. 苦楽同じくらい	保育園の、第三子以降保育料無料がとても助かっています。子育て支援センターでお世話になっていた先生が保育園の先生になったりと、そういうパターンも少しあり、話しやすいので嬉しく思います。子育てイベントもたくさんあるので、都合が合えばたくさん参加したいです。低学年のうちはよく市の企画に参加してたのですが、高学年になると、週末は習い事で忙しくなるので、行けなくて残念に思うことが度々あります。	
小学生	1. 母	1. いる	5	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	市が子育てに力を入れている	

【自由記述2】「子育て全般について」の2つの設問(「満足度(1=満足度が低い)」、「東御市評価(3. 子育てしやすくない⇒4. わからない⇒2. ふつう)」、「年代(0-2歳)」、「回答者(1. 母)」の順で並び替え)

年代	回答者	配偶関係	満足度	東御市評価	子育て	東御市における子育ての環境や支援について、回答いただいた満足度の数字の理由を記入してください。	最後に、教育・保育等の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。
小学生	1. 母	1. いる	5	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	親身になって相談に乗っていただけた	教室に入ることが困難になってしまい、就労したくても長期休みの預かりが学校の学童には行けそうにない。転勤で来ているので周りに頼れる人はおらず気軽に預けられない。 勉強をさせたくても家では、だらけてやる気がおきないので遅れが気になる。 ある程度教える位しか出来ない。
小学生	1. 母	1. いる	5	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	地域密着型で子育て世帯でなくても子育てに関する理解が深い方が多いのでボランティアのかたや見守り隊など積極的なことが本当に嬉しい。	一日の大半を学校で過ごす子供たちに心豊かにのびのび過ごしてもらうために先生達にもものびのび指導をしていただきたい。マニュアルではなく生徒へ寄り添った形の指導であってほしいと思います☺
小学生	2. 父	1. いる	5	2. ふつう	2. 苦楽同じくらい	児童館の存在は大変助かります。	
小学生	2. 父	1. いる	5	2. ふつう	1. 楽しい…が多い	特に児童クラブには助けられている	
0-2歳	2. 父	1. いる	5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	子育て支援センターが気軽に利用できる 産後ケアが受けやすい	支援センターなどは充実しているが、小児科の医療機関がもっとあっていいのではないか。
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	育児休業中に、保健センターへ気軽に体重を測りに行ったり、相談する事ができて良かった。	
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	産まれる前は助産師さんの訪問があり、産まれてからは新生児訪問や検診で相談ができる。スタッフの方もやさしく親身になってくれてとても心強かった。 子育て支援センターもよく利用しました。保育園へ入ってから、不安なことやわからないことは先生方に相談できるので、安心です。	おかげさまで、楽しんで子育てができています。 本当にありがとうございます。 来年小学校へ入学ですが、土曜日や祝日の出勤もありますので、そういう時に小学生でも保育園なみに預けられるところがあればありがたいと思います。
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	子育て支援センターを気軽に利用できる場所。大きな公園がある。	
3-5歳	1. 母	2. いない	5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	支援センターや市民病院では色々とお世話になった。いつも温かく対応してくれる。	
3-5歳	1. 母	1. いる	5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	保育園に入り易い。人口が密集しておらず、自然が多く伸び伸びした環境がある。	
小学生	2. 父	1. いる	5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	生活環境において不便がなく、治安も良い。学校生活では先生方の熱心な指導が感じられる。	
小学生	祖父		5	1. 子育てしやすい	1. 楽しい…が多い	充実している	なし

第三期市町村子ども・子育て支援事業計画等
における「量の見込み」の算出等の考え方
(改訂版 ver. 1)

令和 6 年 3 月 11 日

目次

はじめに	4
< 1 > 基本的考え方	5
1. 利用希望を把握するための調査を行う趣旨 (P1)	5
2. 提供体制確保の実施時期の設定 (P3)	5
< 2 > 量の見込みの算出	6
Ⅱ. 量の見込みの具体的算出方法 (P6)	6
1. 家庭類型の分類 (P6～29)	6
(全般的事項)	6
(個別事項)	6
(ア) 図表4 量の見込みの算出に用いる子どもの年齢について (P9)	6
2. 教育・保育の量の見込みの算出方法 (P30～38)	8
(全般的事項)	8
(ア) 算出方法について	8
(イ) トrendや政策動向、地域の実情等の考慮	8
(ウ) 都市開発部局との十分な情報共有	9
(個別事項)	9
(ア) 幼稚園・預かり保育について (P33)	9
(1) 共働き等家庭のこどもの幼稚園・預かり保育の利用希望の取扱いについて (P62～64 にも関連)	9
(2) 「子育て安心プラン」に基づいた預かり保育の充実等の取扱いについて (P62～64 にも関連)	11
(3) 地域子ども・子育て支援事業における一時預かり事業(幼稚園型)の取扱い (P65～67 にも関連)	13
(イ) 0歳児及び1歳児保育の量の見込み (P38)	15
3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法 (P39～61)	16
(全般的事項)	16
(ア) トrendや政策動向、地域の実情等の考慮	16
(イ) 都市開発部局との十分な情報共有	16
(個別事項)	16
(ア) 時間外保育事業の量の見込み (P39)	16
(イ) 放課後児童健全育成事業の量の見込み (P40)	16
(1) 放課後児童健全育成事業の量の見込みの考え方について	16
(2) 放課後児童クラブを取り巻く状況を踏まえた確保方策について (P65～67 にも関連)	19

(3) 市町村支援事業計画への記載イメージ (P65～67 にも関連)	19
(ウ) 子育て短期支援事業の量の見込み (P43)	20
(エ) 地域子育て支援拠点事業の量の見込み (P46)	21
(オ) 一時預かり事業、子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)、子育て援助活動支援事業 (ファミリーサポートセンター事業) の量の見込み (P48、52)	22
(カ) 病児保育事業の量の見込み (P55)	23
(キ) 利用者支援事業の量の見込み (P61)	23
＜3＞ 提供体制の確保の方策及びその実施時期	25
(ア) 企業主導型保育施設の地域枠の活用 (P62～64)	25
(イ) 利用者支援事業の提供体制の確保の方策及びその実施時期 (P66)	25
(ウ) 養育支援訪問事業の確保の方策及びその実施時期量の見込み (P67)	26
＜4＞ その他	27
(ア) 「調査票のイメージ」における設問の修正	27
(イ) 計画の公表等について	27
(1) パブリックコメント等の実施	27
(2) 計画の公表	28
(ウ) 認定こども園への移行に係る需給調整の特例 (P68)	28
(1) 特例措置の内容及び趣旨	28
(2) 都道府県支援事業支援計画等における取扱い	28
＜5＞ 児童福祉法改正による新事業の量の見込み	30
(1) 量の見込みの算出方法	30
(2) 提供体制の確保の方策及びその実施時期	32
＜6＞ 計画作成に当たっての留意点	33
(ア) 一体的策定が可能な他の計画	33
(イ) 都道府県こども計画・市町村こども計画との関係	33
(ウ) こども等の意見を反映するための措置	33
(エ) 複数の市町村による共同策定	34
＜7＞ 教育・保育等の円滑な利用及び質の向上に係る取組の記載	35
(ア) 外国につながる幼児への支援・配慮について	35
(イ) 幼児教育・保育等の質の確保及び向上について	35
(1) 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校等との円滑な接続の推進	36
(2) 幼稚園教諭・保育士・保育教諭等に対する研修の充実等による資質向上	36
(3) 処遇改善を始めとする労働環境への配慮	36
(4) 教育・保育施設を行う者に対する適切な指導監督、評価等の実施	36
(5) 教育・保育施設における自己評価、関係者評価、第三者評価等を通じた運営改善	36

（６）幼稚園教諭一種免許状の取得促進.....	37
（７）幼児教育アドバイザーの育成・配置.....	37
（８）幼児教育センターの設置	37
< 8 > 「量の見込み」及び「確保方策」等に関する調査について.....	38

はじめに

子ども・子育て支援法第 61 条及び第 62 条において、市町村（特別区を含む。以下同じ。）及び都道府県は、国が示す基本指針（「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付並びに地域子ども・子育て支援事業及び仕事・子育て両立支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」（平成 26 年内閣府告示第 159 号）をいう。以下同じ。）に即して、それぞれ 5 年を 1 期とする市町村子ども・子育て支援事業計画（以下「市町村支援事業計画」という。）及び都道府県子ども・子育て支援事業支援計画（以下「都道府県支援事業支援計画」という。）を定めるものとされている。

各市町村及び都道府県においては、令和 2（2020）年度を始期とする当該各計画の計画期間の終期が令和 6（2024）年度であることから、令和 7（2025）年度を始期とする第三期の当該各計画を改めて作成する必要がある。

そこで、第一期の市町村支援事業計画の作成に当たって示した「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」（平成 26 年 1 月 20 日内閣府子ども・子育て支援新制度施行準備室事務連絡。以下「第一期手引き」という。）をベースとしつつ、「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方（改訂版）」（平成 31 年 4 月 23 日内閣府子ども・子育て本部参事官（子ども・子育て支援担当）事務連絡。以下「第二期手引き」という。）を改訂する形で、自治体の実情に応じて、これまでどおり第一期手引きの内容をベースに対応可能であることを示しながらも、直近の議論や状況等を踏まえた諸般の改正や自治体の実情に応じて柔軟に対応が可能である点などを示した、第三期の市町村支援事業計画及び都道府県支援事業支援計画の作成に当たっての「量の見込み」の算出等の考え方（以下「第三期手引き」という。）を提示する。各市町村及び都道府県におかれては、第一期手引き及び第三期手引きを参考に第三期市町村支援事業計画及び都道府県支援事業支援計画の計画作成を進めていただきたい。

なお、今回提示する考え方の活用方法も含め、具体的な算出方法等については、各市町村及び都道府県において地方版子ども・子育て会議等の議論を経て、適切に判断いただきたい。

「第三期手引き」の改訂版 ver. 1（令和 6 年 3 月 11 日こども家庭庁成育局総務課事務連絡）は、「第三期手引き」の初版（令和 5 年 9 月 20 日こども家庭庁成育局総務課事務連絡）発出後、各自治体の意見も踏まえた所要の修正及び令和 6 年 4 月 1 日に適用される基本指針の最新の改正に伴う所要の修正を反映したものである。

今後、「新子育て安心プラン」等にかわるプランを策定する可能性があるとともに、「こども未来戦略」（令和 5 年 12 月 22 日閣議決定）における「こども・子育て支援加速化プラン」に基づく対応等を踏まえ、再度、令和 6 年夏頃以降に本手引きを改訂する可能性はあることに留意されたい。一方、第三期市町村支援事業計画及び都道府県支援事業支援計画は、既に「第三期手引き」の初版を基に作成作業を進めていただくようお願いしていたところ、引き続き、「第三期手引き」の改訂版 ver. 1 を基に作成作業を進めていただくようお願いしたい。

※ 各項目名後の（ ）内は、第一期手引きにおける該当ページを示している。

＜１＞ 基本的考え方

１．利用希望を把握するための調査を行う趣旨（P1）

市町村支援事業計画は、利用者ニーズに応じた提供体制を確保するためのものであることから、潜在的ニーズも含めたニーズ把握・算出自体は重要と考えており、第三期においてもこの基本的な考え方に変更はない。他方で、各市町村において、地方版子ども・子育て会議等の議論等を踏まえたより効果的、効率的な方法によるニーズ把握・算出を行うことも可能である。事業ごとのニーズ把握方法等については、後述する具体的算出方法における記載も参考にされたい。

２．提供体制確保の実施時期の設定（P3）

市町村支援事業計画における提供体制確保の実施時期は、各市町村における保育ニーズや提供体制などそれぞれの実情を踏まえた上で、令和 11（2029）年度末までのできるだけ早期に量の見込みに対応する教育・保育施設及び地域型保育事業を整備することを目指し、設定する。

※実施時期の設定については、「新子育て安心プラン」後の次期プランの在り方等の検討状況や、「こども・子育て支援加速化プラン」に基づく対応の検討状況等も適宜参照されたい。

第1章 施策の全体像

将来像

人と自然
豊かな暮らしを実感

基本目標

I 『自然と多様な人々が 共生するまち』

～環境にやさしい暮らしと、多様な人が
認め合い・協力し合う地域を創る～

II 『共に支え合い、 健やかに暮らせるまち』

～子どもから高齢者まで、健やかに自分らしく
暮らし続けられるようにする～

III 『誰もが学び、 自分らしく輝けるまち』

～子どもも大人も、地域資源を
活かしながら学び合い・育ち合う～

政策

1 豊かな自然と共生する
循環型社会の推進

2 地球温暖化対策の推進

3 多様性を認め合う地域づくりの推進

4 協働による地域づくりの推進

1 安心して子どもを産み育て、
充実した
時間を過ごせる環境づくり

2 自分らしく、住み慣れた地域で
安心していきいきと暮らせる環境づくり

3 困難を抱える人への支援や地域の支え合い
体制づくりの推進

1 夢を持ちたくましく生きる子が育つ
環境づくり

2 誰もが生涯を通じて学び合い・
実践できる環境づくり

施策

重点

DX

ゼロ
カーボン

子育て・
子育て

① 豊かな自然の継承・理解の推進

② ごみの適正処理と減量・資源化の推進

③ 脱炭素社会の推進

④ 人権尊重・男女共同参画の推進

⑤ 多文化共生の推進

⑥ 多様な主体の連携・協働による
地域づくり活動の推進

⑦ 充実した市民活動のための支援

⑧ 妊娠・出産・子育ての切れ目ない
支援の充実

⑨ 子育て・子育てを共に支える地域づくりの
推進

⑩ より豊かな保育の実践

⑪ 生涯を通じた健康増進の推進

⑫ 介護予防・高齢者の社会参加の推進

⑬ 地域包括ケアシステムの深化

⑭ 地域医療体制の充実

⑮ 支え合う地域福祉づくりの推進

⑯ 障がい者（児）福祉の充実

⑰ ひとり親・生活保護・生活困窮世帯等の
自立支援と生活の安定

⑱ 確かな学力、豊かな心、
健やかな身体を育む教育の推進

⑲ 安全・安心な子どもの居場所づくり

⑳ 人づくり、地域づくりにつながる
生涯学習の推進

㉑ 文化・芸術・スポーツの推進

㉒ 文化財の保存と活用

にやさしい できるまち とうみ

IV 『魅力と活力があふれる 産業のあるまち』 ～暮らしを豊かにする産業を育て、 まちの魅力を高める～

1 地域の魅力を高める農林業の振興

- ②③ 農業生産基盤の整備と保全
- ②④ 東御ブランド力の強化と特産品による地域振興
- ②⑤ 農業の担い手の育成・支援と安定的な農業経営の確立
- ②⑥ 地域の里山及び民有林の適正な管理

2 暮らしを豊かにする商工業の振興

- ②⑦ 商工業の育成とにぎわいの創出
- ②⑧ 新規起業家への支援

3 まちににぎわいをもたらす観光の振興

- ②⑨ 地域資源を活用した着地型観光の推進
- ③⑩ 観光客受入環境及び観光施設の整備

V 『便利で安心して暮らせるまち』 ～便利に暮らすための社会基盤を充実するとともに、いざという時の備えを皆で整える～

1 都市インフラの維持・充実

- ③① 安全・快適な道路環境の整備
- ③② 公共交通の利便性の向上
- ③③ 上下水道の維持・管理
- ③④ ゆとりある住環境づくりの推進

2 災害に強い地域づくりの推進

- ③⑤ 防災意識の高揚と防災体制の充実
- ③⑥ 地域消防体制の充実
- ③⑦ 災害に強いインフラの強化

3 暮らしの安全の確保

- ③⑧ 地域防犯活動の推進
- ③⑨ 安心な消費生活への支援
- ④⑩ 交通安全活動の推進

VI 『持続可能な選ばれるまち』 ～時代に合った魅力発信や行財政改革により、 市内外からの共感や愛着を高める～

1 シティプロモーションの推進

- ④① 地域ブランドの構築・発信
- ④② シビックプライドの醸成

2 移住・定住の促進

- ④③ U・I・Jターンと定住の促進

3 DXによる行政サービスの利便性向上

- ④④ DXの推進

4 市民の信頼に応える行財政経営の推進

- ④⑤ 効果的で持続可能な行財政経営の推進
- ④⑥ 市民の声に向き合う広報・広聴活動の充実
- ④⑦ 広域連携による共同事業の促進

日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、以下の6本の柱を基本的な方針とする。

①こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る

- ・こども・若者は、保護者や社会の支えを受けながら、自立した個人として自己を確立していく意見表明・参画と自己選択・自己決定・自己実現の主体であり、生まれながらに権利の主体。多様な人格を持った個として尊重し、その権利を保障し、こども・若者の今とこれからのための最善の利益を図る。「こどもとともに」という姿勢で、こどもや若者の自己選択・自己決定・自己実現を社会全体で後押し。
- ・成育環境等によって差別的取扱いを受けることのないようにする。虐待、いじめ、暴力等からこどもを守り、救済する。

②こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく

- ・こども・若者が、自らのことについて意見を形成し、その意見を表明することや、社会に参画することが、社会への影響力を発揮することにつながり、おとなは、こども・若者の最善の利益を実現する観点からこども・若者の意見を年齢や発達の程度に応じて尊重する。
- ・意見表明・社会参画する上でも欠かせない意見形成への支援を進め、意見を表明しやすい環境づくりを行う。困難な状況に置かれたこども・若者や様々な状況にあって声を聴かれにくいこどもや若者等について十分な配慮を行う。

③こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する

- ・こども・若者の状況に応じて必要な支援が特定の年齢で途切れることなく行われ、自分らしく社会生活を送ることができるようになるまでを社会全体で切れ目なく支える。
- ・「子育て」とは、こどもの誕生前から男女ともに始まっており、乳幼児期の後も、学童期、思春期、青年期を経て、おとなになるまで続くものとの認識の下、ライフステージを通じて、社会全体で子育て当事者を支えていく。

④良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする

- ・乳幼児期からの安定した愛着（アタッチメント）の形成を保障するとともに、愛着を土台として、全てのこども・若者が、相互に人格と個性を尊重されながら、安全で安心して過ごすことができる多くの居場所を持ち、様々な学びや多様な体験活動・外遊びの機会を得ることを通じて、自己肯定感や自己有用感を高め、幸せな状態で成長し、尊厳が重んぜられ、自分らしく社会生活を営むことができるように取り組む。
- ・困難な状況にあるこども・若者や家庭を誰一人取り残さず、その特性や支援ニーズに応じてきめ細かい支援や合理的配慮を行う。

⑤若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路（あいろう）の打破に取り組む

- ・若い世代が「人生のラッシュアワー」と言われる様々なライフイベントが重なる時期において、社会の中で自らを活かす場を持つことができ、現在の所得や将来の見通しを持てるようにする。
- ・多様な価値観・考え方を尊重することを大前提とし、どのような選択をしても不利にならないようにすることが重要。その上で、若い世代の意見に真摯に耳を傾け、その視点に立って、若い世代が、自らの主体的な選択により、結婚し、こどもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望に応じて社会全体で支えていく。共働き世帯が増加し、また、結婚・出産後も仕事を続けたい人が多くなっている中、その両立を支援していくことが重要であるため、共働き・共育てを推進し、育児負担が女性に集中している実態を変え、男性の家事や子育てへの参画を促進する。

⑥施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する